I·O DATA

B-MANU201861-03

GV-VCBOX
取扱説明書

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

本書は、必要なときにすぐに手に取れる所に保管してください。

もくじ

はじめに 4

安全にお使いいただくために 4

安全のために 4
使用上のご注意 8
各部の名称 / 機能 10

日付を設定しよう 13

AC アダプターをつなぐ 13
電源を入れる 13
底面のテープを取り外す 13
日時を設定する 14

使ってみよう 16

ビデオテープをダビングしよう 16

つなぐ 16
SD カードを入れる 17
ダビングする 20
停止する 21

再生 22

モードを切り替える 22
再生したい記録を選ぶ 22
きれいに見る 26
連続再生をする 30
不要な記録を消去する 32

コピー 34

コピーについて 34
メディアをセットする 34
コピーする 35

便利な使い方 38

シンクロ録画（信号による記録開始） 38
シンクロ録画の設定 38
シンクロ録画する 40
自動停止 42

ラジオやカセットテープの録音 44
つなぐ 44
録音モードにする 45
録音する 47
録音を停止する 47

タイマー予約 48

優先記録メディアを変更する 52

フォーマット 54

初期設定に戻す 56

資料 58

製品仕様 58

設定メニュー 60
モードを選ぶ 60
設定メニューの出し方 60
メニュー一覧 61

エラーメッセージ 64

困った時には 66

お問い合わせ 68
お問い合わせについて 68
修理について 69

安全にお使いいただくために

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

● 警告および注意表示

⚠危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

● 絵記号の意味

🚫	禁止
❗	指示を守る

⚠ 危険

本製品を修理・改造・分解しない

火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

⚠ 警告

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない

感電の原因になります。

AC アダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない

水や洗剤などが AC アダプターや本製品にかかると、隙間から浸み込み、火災・感電の原因になります。

・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。
・掃除は必ず乾いた布でおこなってください。
・万一、AC アダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

故障や異常のまま、つながない

本製品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器から取り外してください。そのまま使うと、火災・感電・故障の原因になります。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない

火災・感電の原因になります。

本製品の小さな部品（電池、SD カードやゴム足やネジなど）を、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は直ちに医師にご相談ください。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める
そのまま使うと火災・感電の原因になります。

添付の AC アダプターは、他の機器に接続しない
添付の AC アダプターは本製品専用です。他の機器に取り付けると、火災や感電の原因になります。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない
発熱、火災のおそれがあります。

AC アダプターは、添付品以外を使わない
発煙や火災の原因になります。

AC アダプターを抜くときは電源コードを引っ張らない
ＡＣアダプター本体を持って抜いてください。電源コードを引っ張ると破損し、火災や感電の原因になります。

熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
火災の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因になります。

長期間使用しないときは AC アダプターをコンセントから抜く
火災の原因になります。

電源コードや AC アダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線 (電気の流れるところ) が断線したり、ショートし、火災・感電の原因になります。

コンセントまわりは定期的に掃除する

長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、火災の原因になります。（トラッキング現象）
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない

テーブルタップの定格容量（「1500W」などの記載）を超えて使用すると､テーブルタップが過熱し、火災の原因になります。

電池の液が漏れた時は直ちに火気より離す

漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。
また電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。

●液が漏れたとき
→漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。
乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。

●液が目に入ったとき
→目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

●液が体や衣服についたとき
→すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。

電池について、以下のことに注意する

故障、発熱、破裂、発火、液漏れにより、けがややけどの原因になります。

●指定の電池以外は使わないでください。
●火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
●（＋）（−）を逆にセットしないでください。
●（＋）（−）を金属類で短絡させたり、はんだ等を使わないでください。
●ネックレスやヘヤピン等の金属と一緒に持ち運ばないでください。
●使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
●電池を使い切ったときや、長時間使わないときは取り出してください。
●電子レンジや高圧容器に入れないでください。
●水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
●強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
●電池を充電しないでください。

液晶モニターを割らない

・液晶モニターを強くおさえたり、大きな衝撃を与えないでください。
・ガラスなどが割れてけがの原因になります。
・万一、液晶モニターが割れた場合は液晶内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となります。

濡れた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となります。

電源プラグの注意

・電源プラグが痛んでいるときは使用しないでください。火災・感電の原因となります。
・電源プラグやコンセント、それら周辺にほこりなどを付着させないでください。火災の原因となります。ほこりなどが付着した場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。

⚠ 注意

本製品を踏まない

破損し、けがの原因になります。特に小さなお子様にはご注意ください。

長時間にわたり一定の場所に触れ続けない

本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。
長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。

人が通行するような場所に配線しない

足を引っ掛けると、けがの原因になります。

不安定な場所に置かない

落下したり、破損によるけがの原因になります。

使用上のご注意

注意　ＳＤカードの取り扱いについて

●使用直後のカードは高温になることがあります。ＳＤカードの取り外しは、本製品の電源を切り、SD カードの温度が下がるのを待ってからおこなってください。
●ＳＤカードは精密部品です。曲げたり、強いショックを与えたり、落としたりしないでください。
●極端に高温や低温になる場所、直射日光のあたる場所、しめきった車の中、暖房器具のそば、湿気やほこりの多い場所での使用や保管は避けてください。
●強い静電気・電気的ノイズの発生しやすいところでの使用や保管は避けてください。
●ズボンのポケットに入れないでください。座った時などに力が加わり、壊れることがあります。
●ほかの機器で使用していたり、未使用のカードは必ず、本製品で初期化（フォーマット）してからご使用ください。
●ＳＤカードの取扱説明書もよくお読みください。

注意　大切なデータを守るために

●大切なデータは別のメディア（ハードディスク、DVD など）へコピーされることをおすすめします。
●動作中にケーブルを抜いたり、激しく動かしたりしない。
接触不良によりデータ破壊などの原因になります。
●ＳＤカードや USB ドライブを正しく接続する。
●本製品のコネクター部分には直接手を触れない。
静電気が流れ、データが破壊されるおそれがあります。
●本製品にアクセス中に電源を切ったりしない。
故障の原因になり、データを消失するおそれがあります。
●ＳＤカードやＵＳＢメモリーの寿命
※本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの補償は一切いたしかねます。

●大切なデータは…

・必ず事前に試し録画をして、正常に録画されることを確認してください。

・本製品を使用中、万一これらの故障や不具合により録画できなかった場合の録画内容の保証については、ご容赦ください。

・本製品の動作中に停電などが発生すると、場合により録画された内容が消去されてしまう場合があります。

● DVD やデジタル放送など著作権保護映像は、録画できません。

●本製品で記録した映像・音声を個人の観賞以外の目的で使用しないでください。

●ポータブルハードディスクによっては、電源供給能力が低く動作が安定しない場合があります。その場合はポータブルハードディスクに AC アダプターを使用してお使いください

●本製品の USB ドライブ端子は、USB ハブには対応しておりません。

●ボタン電池の注意

廃棄とリサイクルについて

電池を捨てる時は地域の条例にしたがって処分してください。

プラス極とマイナス極にテープを貼り絶縁状態にしてから廃棄してください。

また、リサイクルにご協力ください。

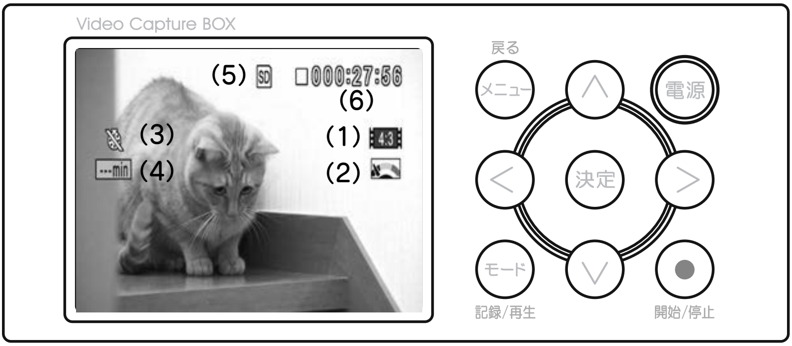
●ラジオやテレビに近づけて使わない。

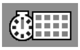
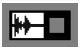
この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。　VCCI-B

各部の名称 / 機能

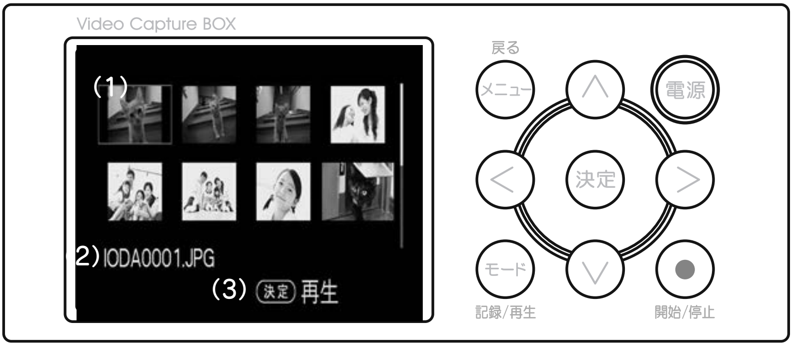
■ 天面（記録モード時）



番号	アイコン	意味
(1)	4:3	4:3 で映像記録
	16:9	16:9 で映像記録
		音声記録
(2)		音声レベルメーター
(3)		予約なし
		毎日予約設定済
		一回予約設定済
(4)	---min	記録停止設定なし
	70min	記録開始後、表示時間がたつと停止
	Manual	記録開始後、設定した時間がたつと停止
		無信号停止
		シンクロ開始
(5)	SD	ＳＤカードに記録
	USB	USB 機器に記録
(6)		記録可能時間

ボタン	機能
電源	電源ボタン
メニュー	メニューの表示 / 非表示（戻る）
モード	記録モード / 再生モードを切り替え
	録画開始 / 停止

■ 天面（再生モード時）

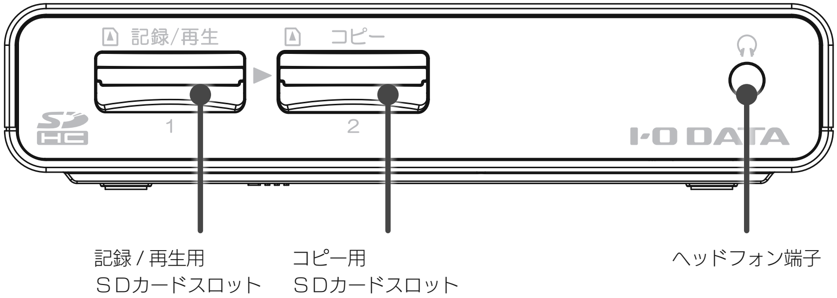


番号	アイコン	意味
(1)		動画ファイル
		音声ファイル
		画像ファイル
(2)		選択しているアイコンの記録ファイル名
(3)		操作ガイダンス

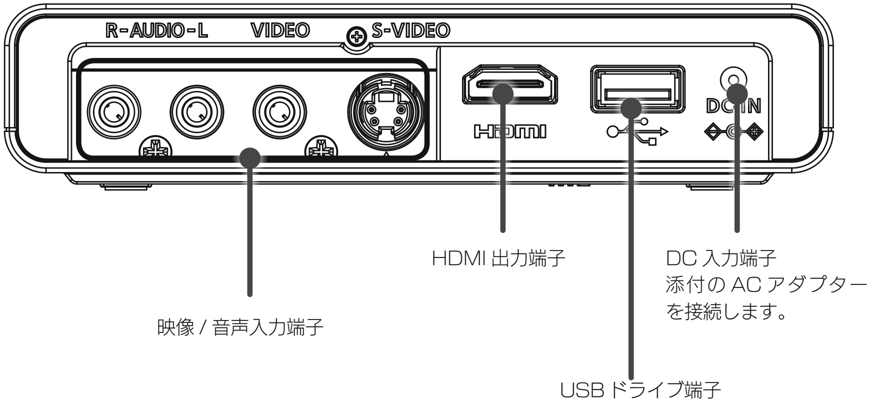
	再生できないファイルの場合は左のようなアイコンで表示されます。

ボタン	機能
電源	電源ボタン
メニュー	メニューの表示 / 非表示（戻る）
モード	記録モード / 再生モード切り替え
∧ ∨ < >	カーソル選択
決定	決定　※再生開始
●	再生開始 / 停止

■前面


記録/再生
コピー
1
2
I-O DATA
記録 / 再生用
ＳＤカードスロット
コピー用
ＳＤカードスロット
ヘッドフォン端子

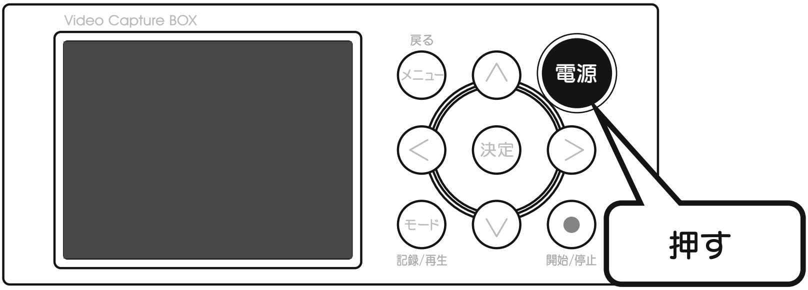
■背面


R-AUDIO-L
VIDEO
S-VIDEO
DC IN
映像 / 音声入力端子
HDMI 出力端子
USB ドライブ端子
DC 入力端子
添付の AC アダプター
を接続します。

日付を設定しよう

AC アダプターをつなぐ

電源を入れる

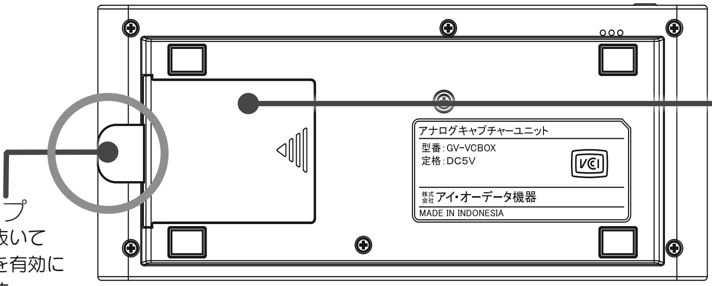


ヒント

電源の切り方

電源 ボタンを２秒以上長押しします。

底面のテープを取り外す

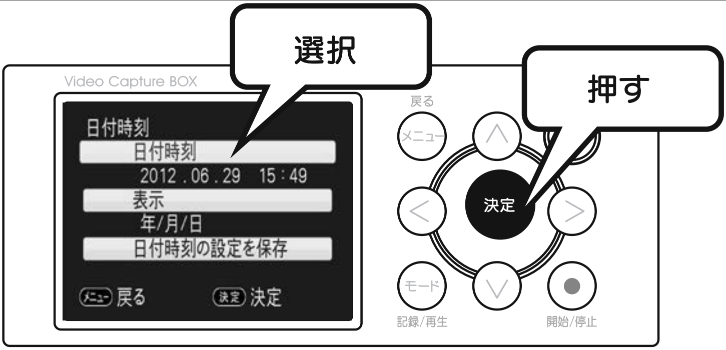


テープ
引き抜いて電池を有効にします。

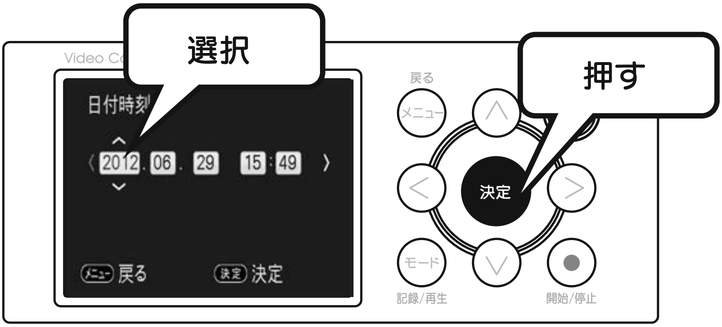
このフタを開けると電池（ＣＲ 2025）が入っています。この電池は内蔵時計用です。

日時を設定する

1

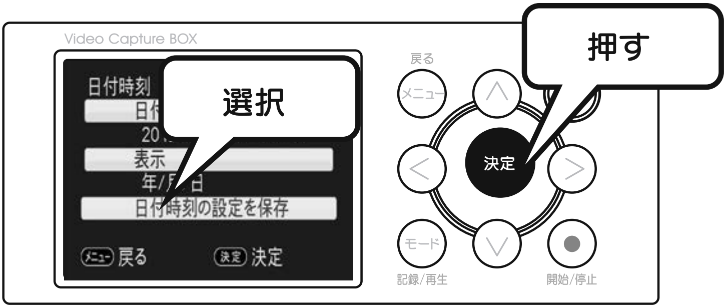


2



< > ∧ ∨ で選択。

3

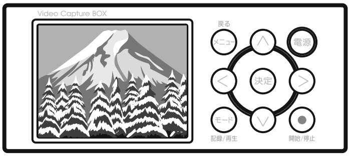


∧ ∨ で選択。

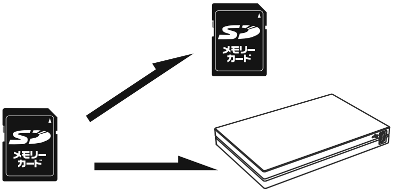
使ってみよう

ビデオテープを
ダビングしよう

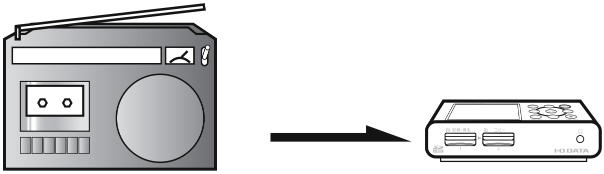
再生



コピーする



便利な使い方



使ってみよう　ビデオテープをダビングしよう

ステップ1　つなぐ

カメラをつなぐときは

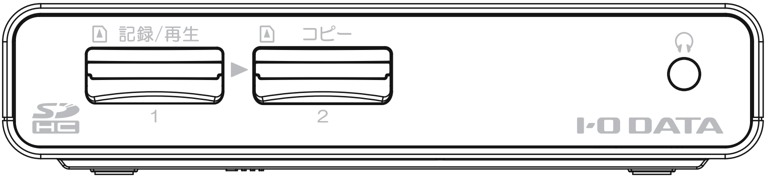
カメラに添付の AV ケーブルを使って接続します。接続するカメラの取扱説明書もご確認ください。

S 端子でつなぐ

AV ケーブルの映像（黄色）を S 端子ケーブルへ変更しても接続できます。その際には音声（赤、白）のケーブルの接続も必要です。

ステップ 2

SD カードを入れる



カードは "1" のスロットに入れます。

○対応カード

SD メモリーカード、SDHC メモリーカード

※最大 32GB まで対応しております。

※ SDXC カードは対応しておりません。

エラーメッセージが表示される場合は

【エラーメッセージ一覧（64 ページ）】をご確認ください。

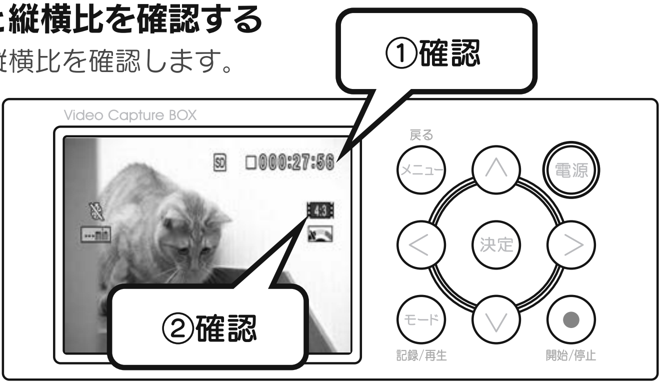
USB ハードディスクに保存したい場合

【優先記録メディアを変更する（52 ページ）】をご確認ください。

ワンポイント

記録時間と縦横比を確認する

記録時間と縦横比を確認します。



①記録時間

右上のカウンターが記録可能時間の目安となります。
記録を開始すると、■→●に変わり、記録時間となります。

②記録の縦横比

ワイド画面 16:9 に対応した D-VHS テープなどをダビングする場合は縦横比の変更が必要です。表示アイコンについては【天面（記録モード）（10 ページ）】をご覧ください。
変更の必要がない場合は、【ダビングする (20 ページ)】へお進みください。

ヒント

縦横比について

4：3

昔のテレビのような正方形に近い比率の映像です。
アナログテレビ番組や 8 mmテープに録画された映像が該当します。

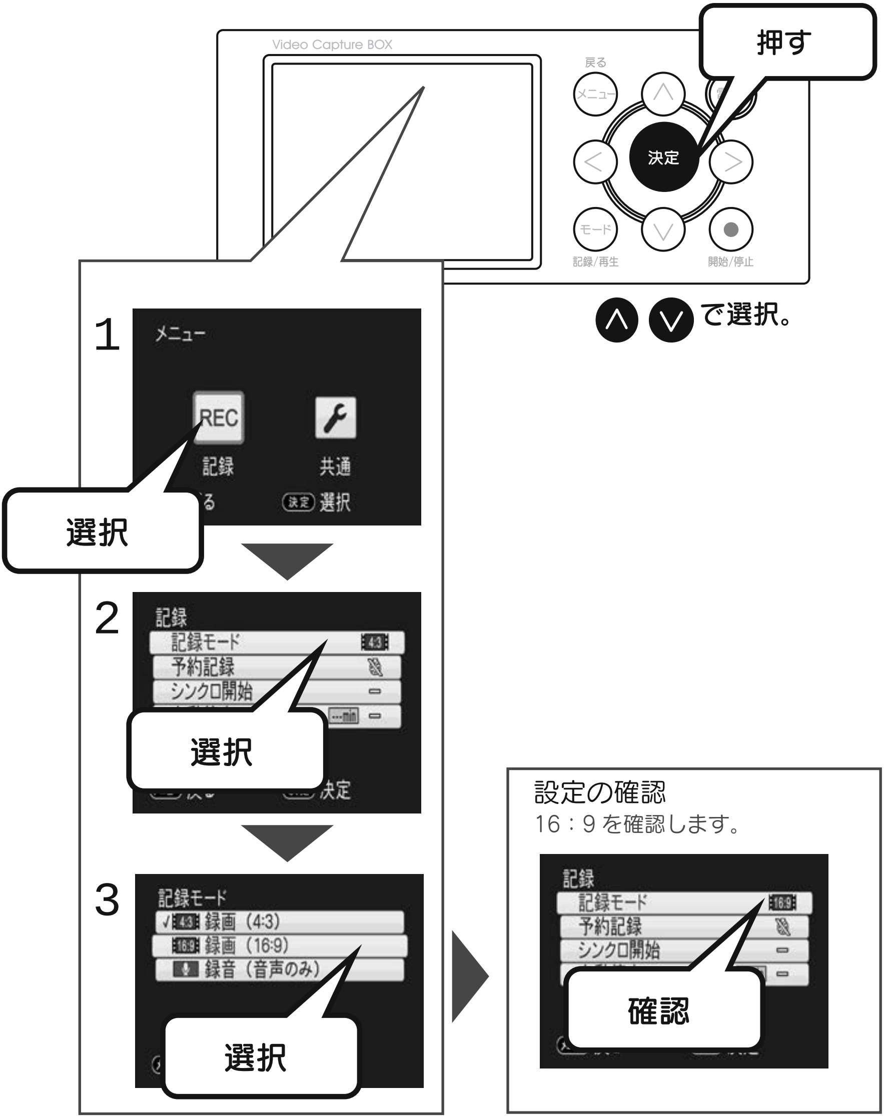
16：9

ワイド（横長）の映像です。ワイドモードで録画したビデオテープなどが該当します。
※ D-VHS デッキなどで録画した場合等があります。

映像が縦長になっている場合（16：9 にしたい）

ヒント

縦横比を 4:3 から 16：9(ワイド) に変更します。

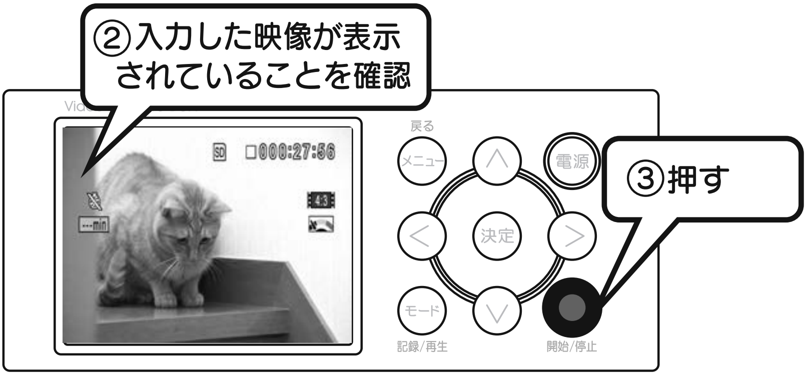


これで設定が完了しました。

ステップ3 ダビングする

ビデオデッキやビデオカメラから記録します。

ビデオデッキの再生ボタンを押します。



液晶にビデオテープの画像が映っていない。

【困った時には（66 ページ)】をご確認ください。

注意　記録中にメディアを取り外さないでください。

取り外すとダビングに失敗したり、データが壊れる可能性があります。

注意　著作権保護映像は記録できません。

本製品は著作権保護映像 (地上デジタル放送、BS/CS 放送、市販ビデオディスクなど) を記録することはできません。

著作権保護信号（コピーガード信号）を検出すると記録を停止します。

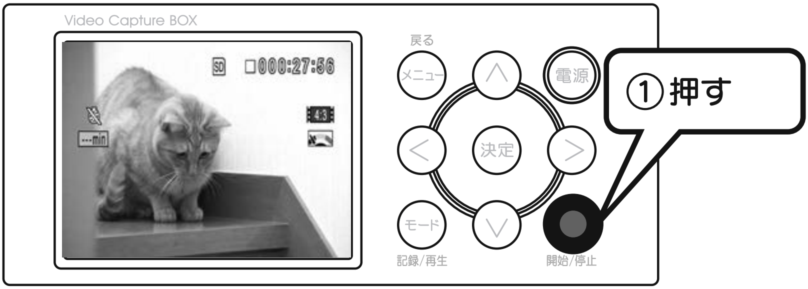
※本製品をテレビと接続している場合、テレビには表示できません。本製品の液晶にのみ表示されます。

録音レベル調整

入力された信号を確認して左右ボタンで録音レベルを調整できます。
※ダビング中は調整できません。
録音レベルは画面内のメーターアイコンで確認できます。

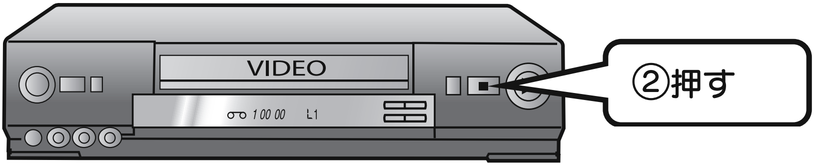
無音　最適　入力レベルが高い

ステップ4 停止する



●（記録中の表示）が■（停止）になります。

ビデオデッキの停止ボタンを押します。



連続記録

連続記録は最長 12 時間で自動停止します。ビデオテープの場合、記録時間が約 1 時間 15 分を過ぎるとファイルサイズが 4GB を超えるため分割保存されます。
※本製品で分割されたファイルは、連続して再生されます。

注意　**記録停止後すぐにメディアを取り外さないでください。**

●（記録中の表示）が■（停止）になるまでお待ちください。

ヒント

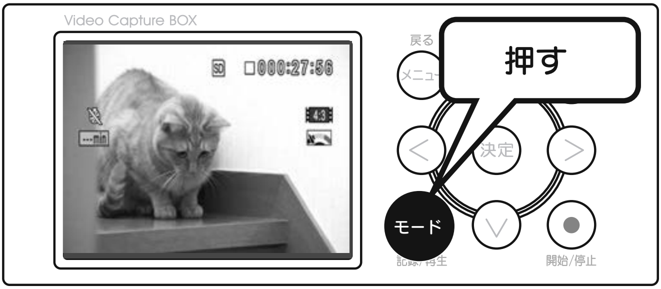
ダビング終了時間を設定したい。

【自動停止設定する (42 ページ)】を参照

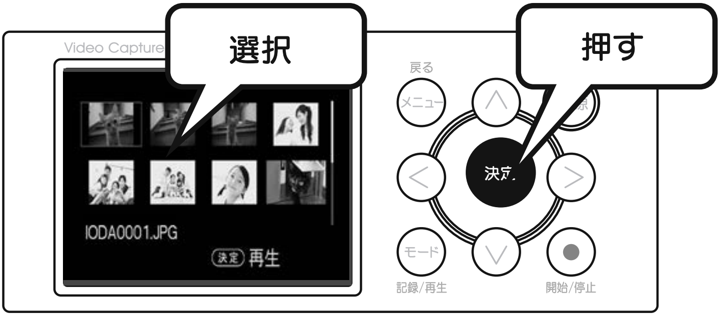
再生

ステップ1 モードを切り替える

テレビに接続した場合はテレビに、接続しない場合は本製品に表示されます。



ステップ2 再生したい記録を選ぶ



＜ ＞ ∧ ∨ で選択。

サムネイルをもっと表示する

メニュー ボタンを長押しするとサムネイルがたくさん表示できます。

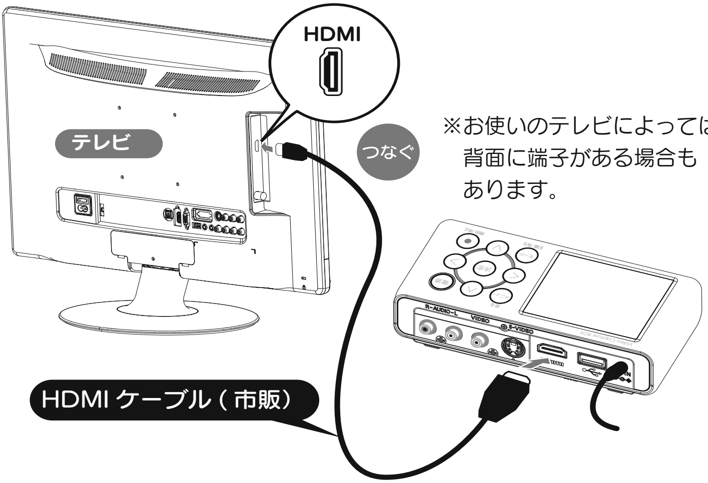
ヒント　テレビで再生する場合（テレビにつなぐ）

HDMI ケーブル（市販）で接続すると、本製品からテレビに映像が切り替わり、テレビで画面を確認できます。

① HDMI ケーブル（市販）を用意します。

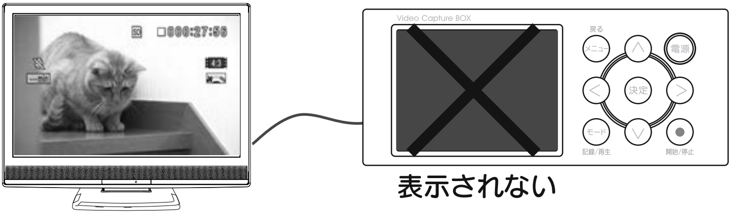
② HDMI ケーブルで本製品とテレビをつなぎます。

③ テレビのリモコンで、テレビの入力を [HDMI] に切り替えます。



テレビにつなぐと本製品の液晶には表示できません。

※テレビとつないでいるケーブルを取り外すと、表示が本体の液晶に戻ります。



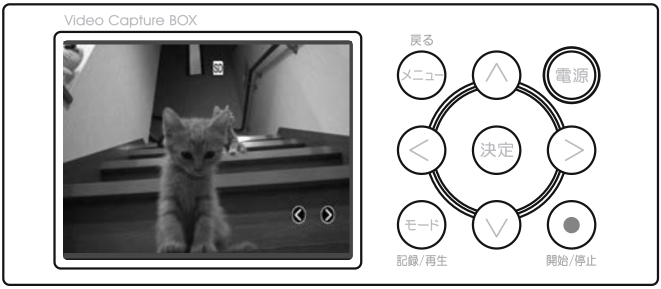
※記録モード時は本体の液晶とテレビの両方に映像が表示されます。
ただし、コピーガード信号を検出した場合は、本体の液晶のみに表示され、テレビには画面表示されません。

※処理中（記録、再生、およびコピーを実行中）に以下の操作をしないでください。動作に影響（テレビ画面に映像が表示されない、または録画データにノイズが乗るなど）することがあります。

・HDMI ケーブルの挿抜
・テレビ側の電源の ON/OFF
・テレビ側の入力切替

ヒント

再生中の操作



ボタン	機能	役割
電源	電源	電源ボタン
メニュー	表示切替	メニューの表示 / 非表示（戻る）
モード	切替	記録モード / 再生モード切り替え
∧ ∨	音量	再生音量を変更します。 ※テレビに接続した場合は無効になります。 テレビに接続した場合の音量はテレビ側で音量を 変更してください。
< >	早送り 早戻し	x2/x5/x10/x15/x30/x60/x90/x120 倍速で 早送り、または、早戻しします。
	コマ送り スロー再生	※一時停止中のみ コマ送り。長押しでスロー再生します。
決定	決定	再生を一時停止する / 一時停止から再生を再開する。 または、早送り、早戻しをやめる
●	停止	再生を停止し、映像選択に戻ります。

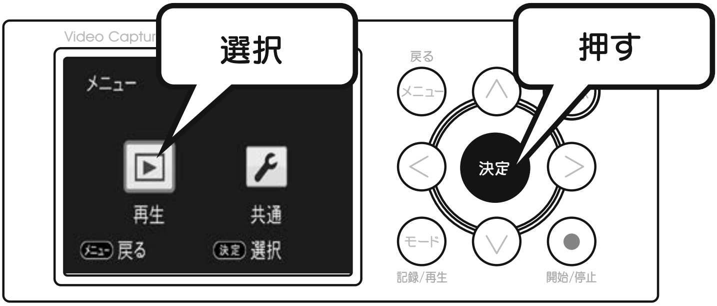
メモ

きれいに見る

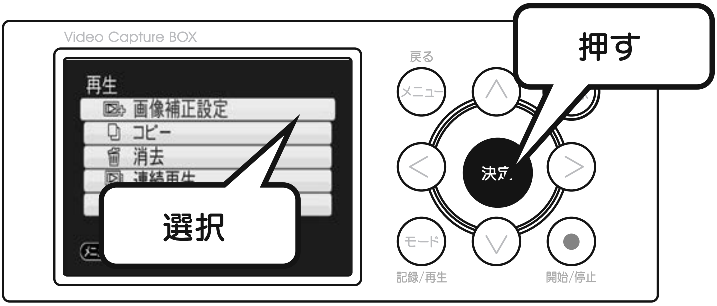
■ 手振れ補正

ビデオカメラの映像などで手振れがひどい時に設定します。
※本製品で記録した動画でのみ有効です。
※映像の画質によっては効果が出ない場合もあります。

1

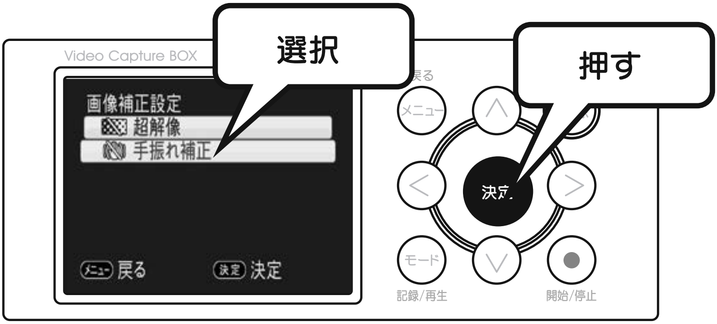


2



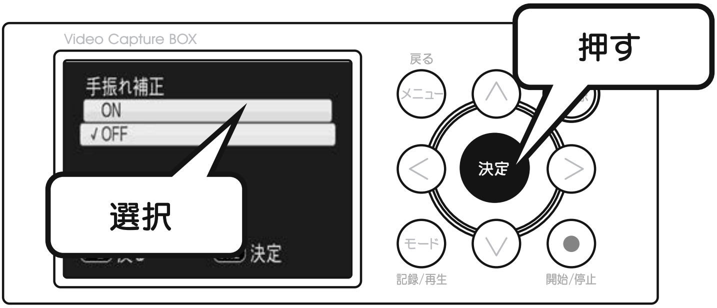
∧ ∨ で選択。

3



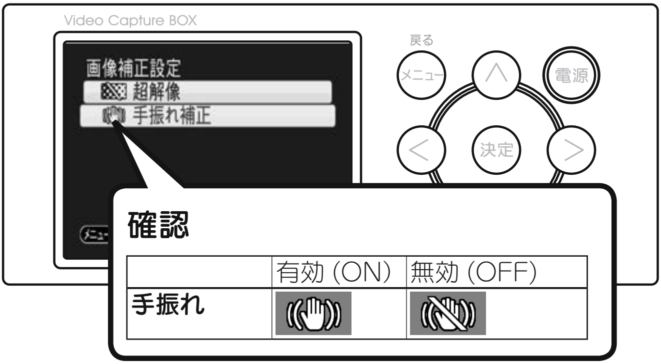
∧ ∨ で選択。

4



∧ ∨ で選択。

5



確認

	有効 (ON)	無効 (OFF)
手振れ		

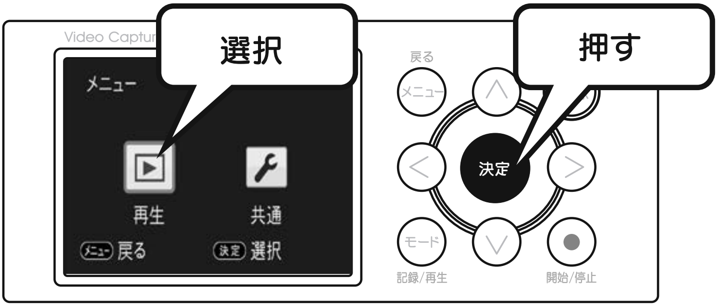
再生時でも確認できます。
上のアイコンが再生時にしばらく表示されます。

これで設定が完了しました。

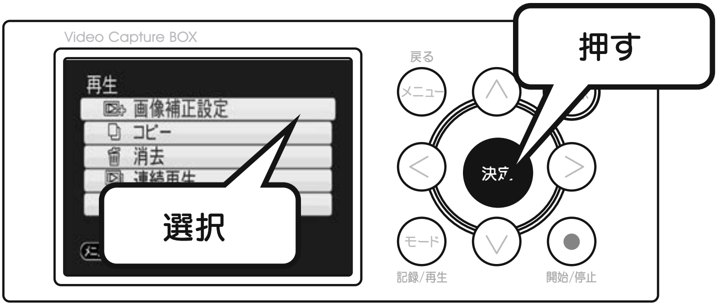
■ 超解像

ビデオカメラの映像などで高い解像度に見えるように設定します。
※本製品で記録した動画でのみ有効です
※映像の画質によっては効果が出ない場合もあります。

1

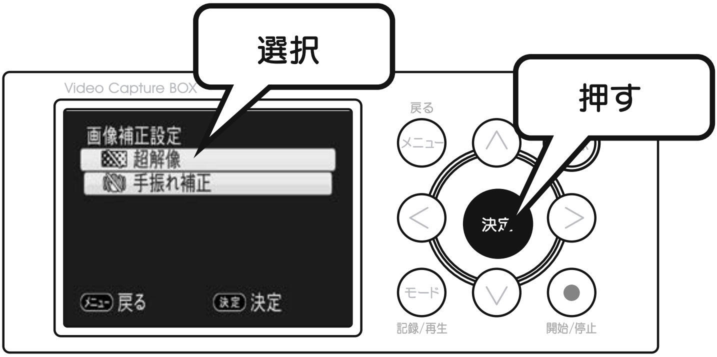


2



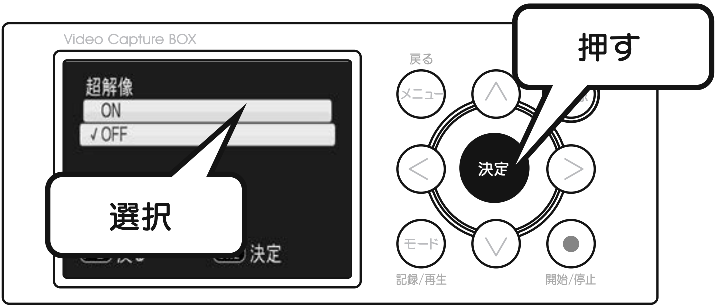
∧ ∨ で選択。

3



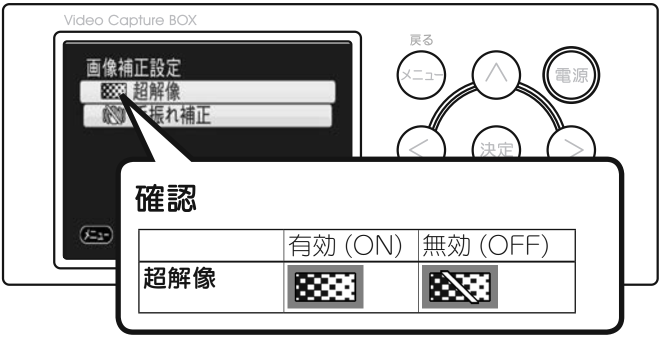
∧ ∨ で選択。

4



∧ ∨ で選択。

5



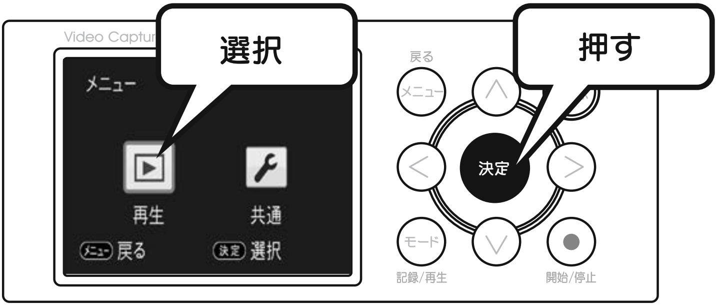
再生時でも確認できます。
上のアイコンがしばらく表示されます。

これで設定が完了しました。

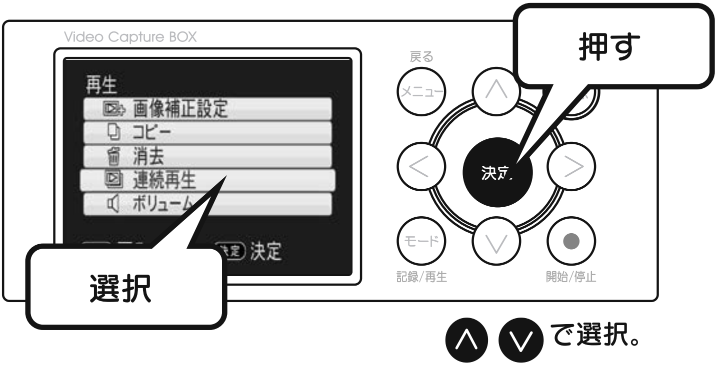
連続再生をする

スライドショーのように連続して再生する方法を案内します。
再生したい写真を SD カードなどに保存し、本製品に入れてください。

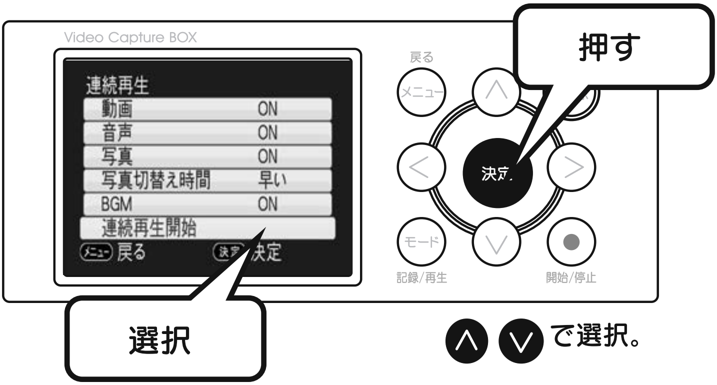
1



2



3



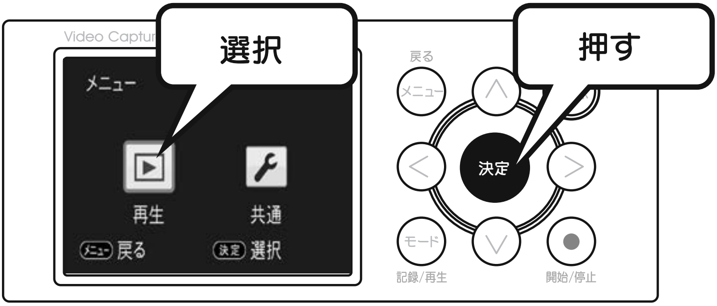
項目	値	内容
動画	ON	動画を再生します。
	OFF	動画を再生しません。
音声	ON	音声を再生します。
	OFF	音声を再生しません。
写真	ON	写真を再生します。
	OFF	写真を再生しません。
写真切り替え時間	早い	写真を 1 秒間の表示に設定します。
	普通	写真を 5 秒間の表示に設定します。
	遅い	写真を 10 秒間の表示に設定します。
BGM	ON	あらかじめ用意された BGM を写真再生時に流します。
	OFF	あらかじめ用意された BGM を写真再生時に流しません。
連続再生開始		再生を開始します。

※連続再生中は、製品本体のどのボタンを押しても連続再生が停止します。

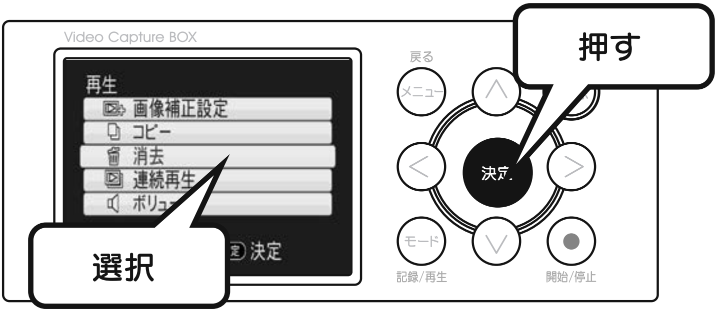
不要な記録を消去する

不要になった記録を消去します。

1

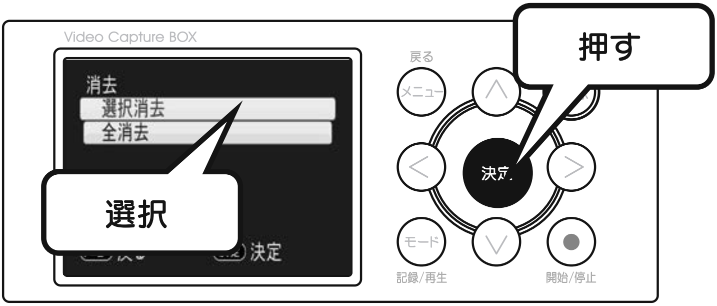


2



∧ ∨ で選択。

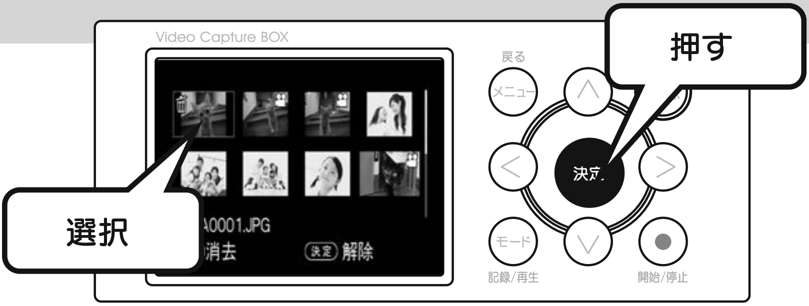
3



∧ ∨ で選択。

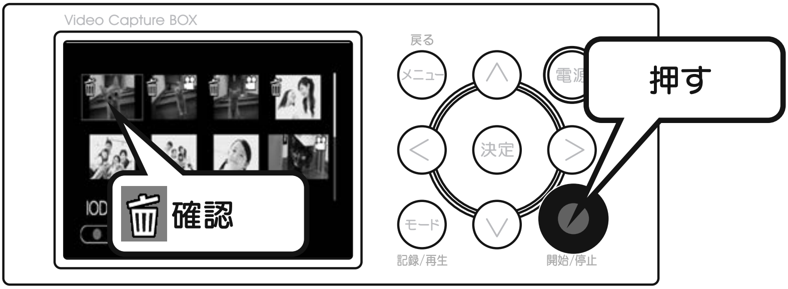
※すべての記録を削除する場合は「全消去」を選んで画面の指示にしたがってください。

4

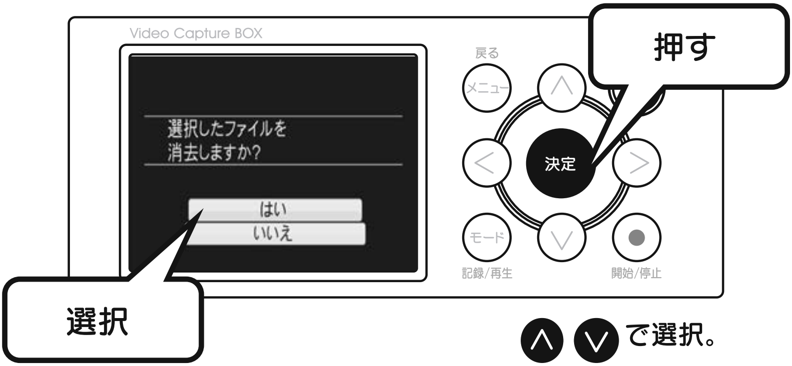


∧ ∨ < > で複数選択。

5

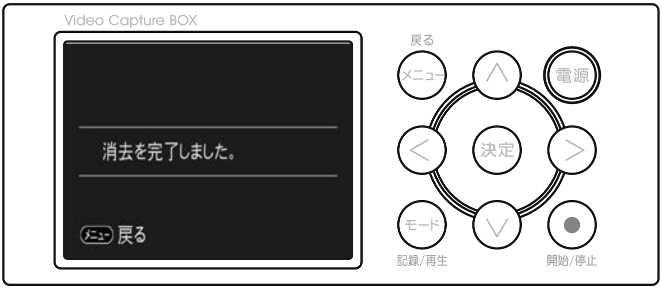


6



∧ ∨ で選択。

7



これで記録の削除が完了しました。

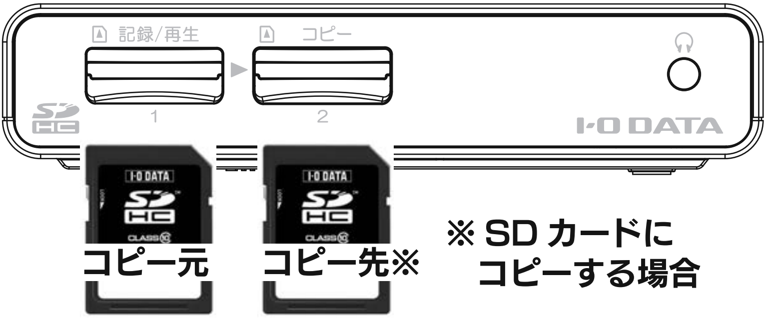
コピー

コピーについて

コピー元のＳＤカードに入っているファイルを
コピー先の SD カードもしくは USB メモリーまたは USB ドライブに
コピーします。
※コピーできるのは再生モード上で表示されているファイルのみとなります。
　表示されていないデータはコピーされません
※原則、コピーは追加コピーとして動作します。

メディアをセットする

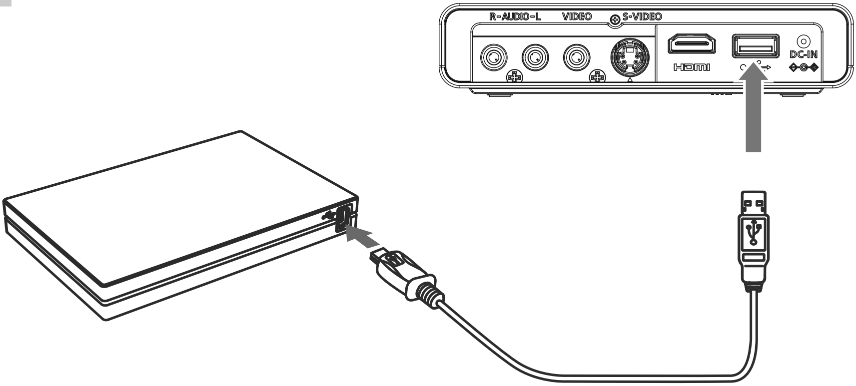
「※対応メディアは、58 ページをご参照ください。



USB メモリー /USB ドライブにコピーしたい

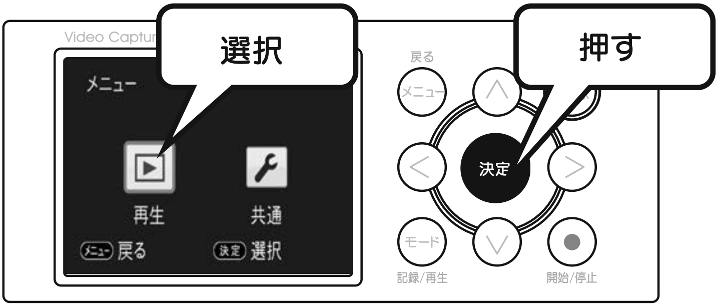
ヒント

USB メモリー /USB ハードディスクをつなぎます。

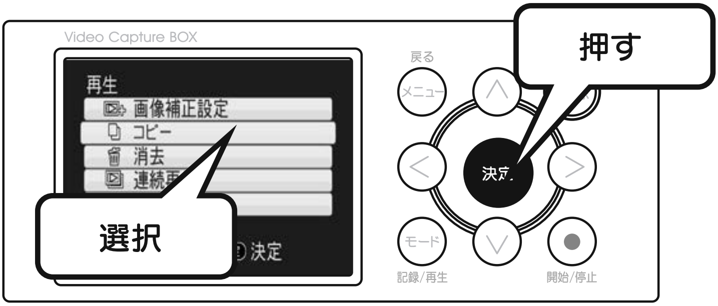


コピーする

1

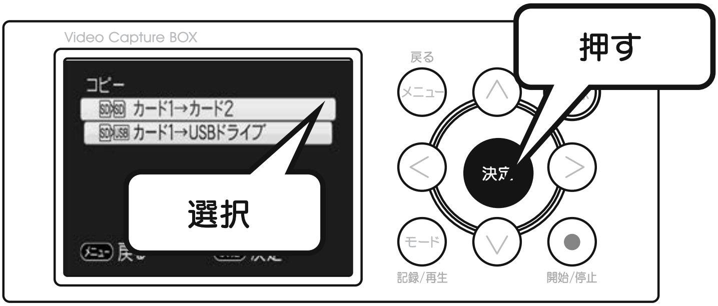


2



∧ ∨ で選択。

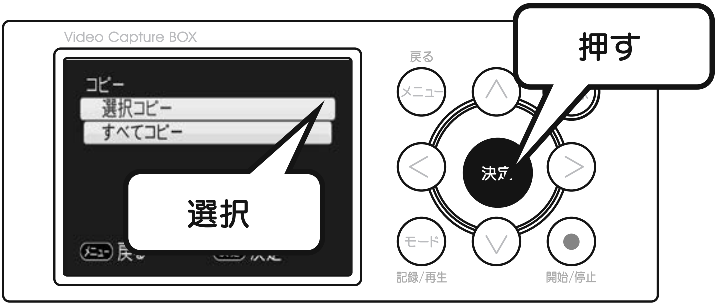
3



∧ ∨ で選択。

※接続した USB メモリー /USB ハードディスクへコピーする場合は、
「カード→ USB ドライブ」を　選びます。

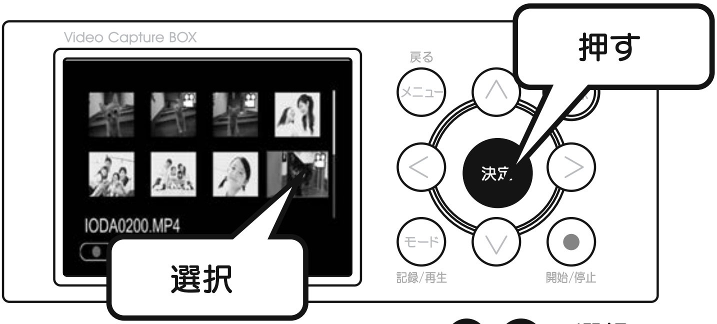
4



∧ ∨ で選択。

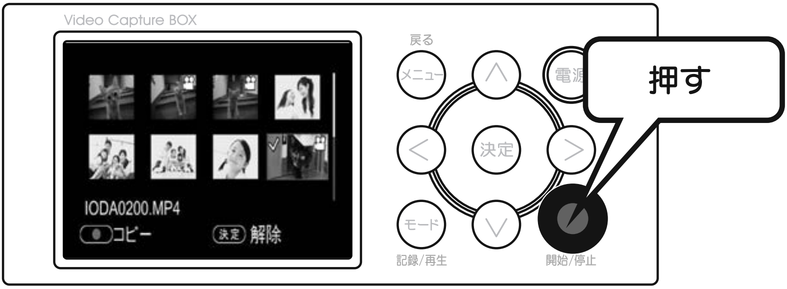
※すべての記録をコピーする場合は「すべてコピー」を選んで画面の指示にしたがってください。

5

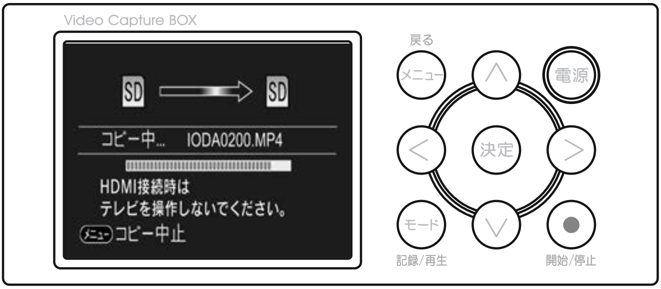


∧ ∨ で選択。

6



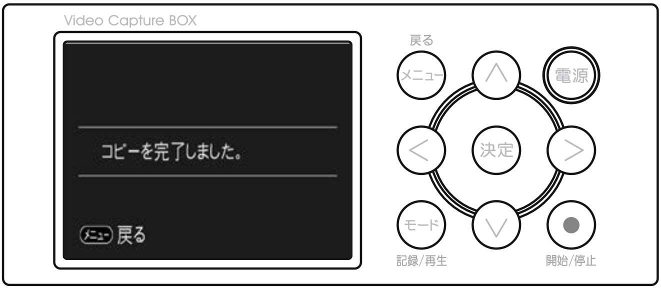
7



コピーを中止したい

メニュー 押すと、現在コピー中のファイルを含めて、これ以降のファイルのコピーを中止します。

8



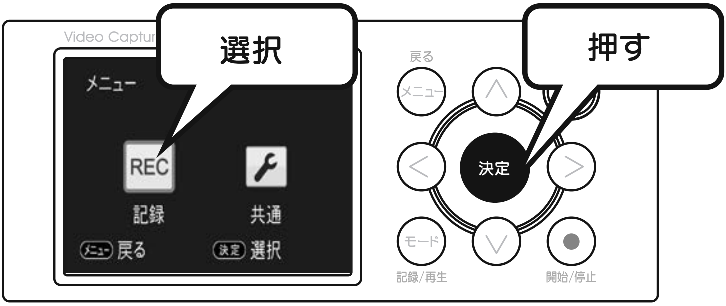
これでコピーが終了しました。

シンクロ録画（信号による記録開始）

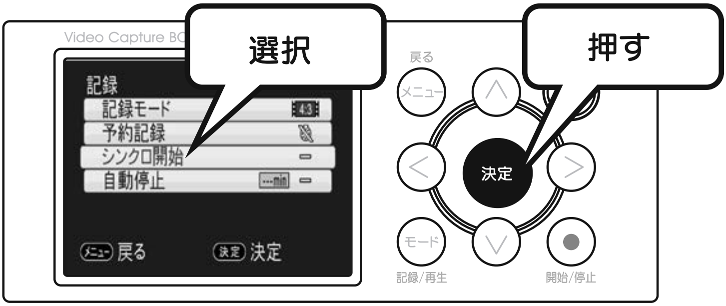
ステップ1 シンクロ録画の設定

本製品に映像信号が入力されると自動的に記録が開始されるように設定できます。

1

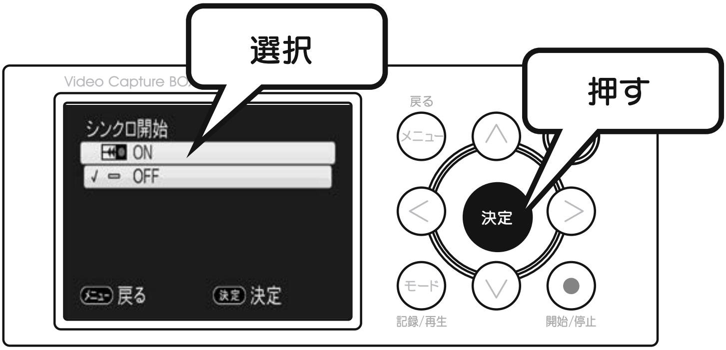


2



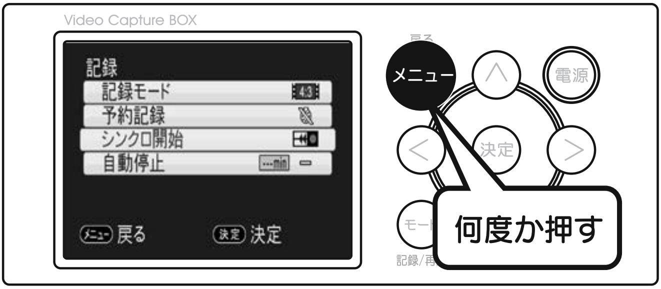
∧ ∨ で選択。

3

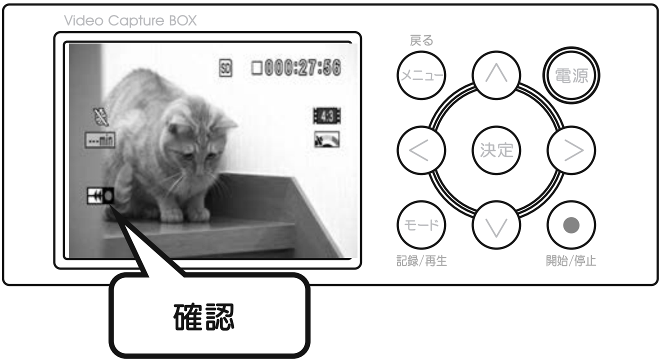


∧ ∨ で選択。

4



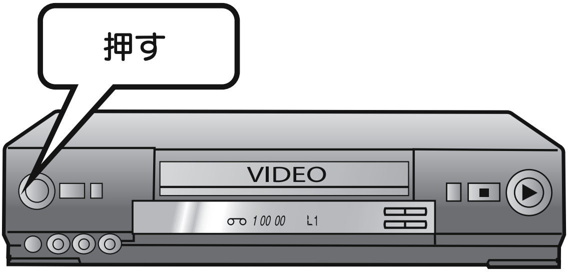
5



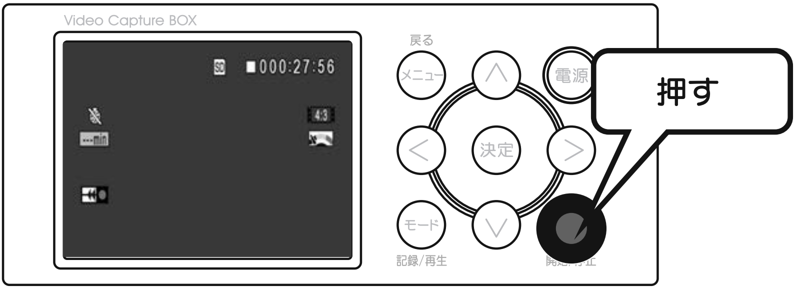
これで設定が完了しました。

ステップ2 シンクロ録画する

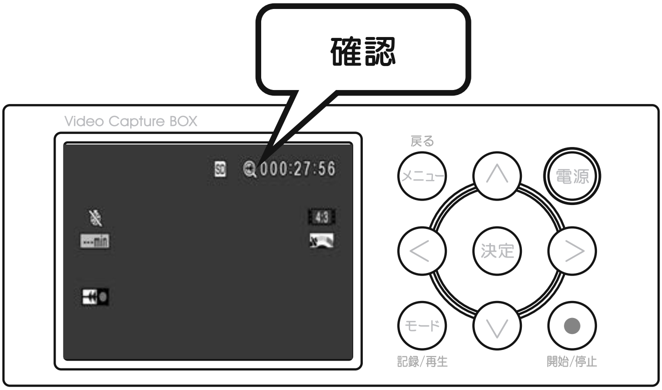
1 本製品への入力信号を停止します。
※再生を停止してもブルーバック信号を出力するビデオの場合は、
ビデオの電源を切ります。



2 本製品を入力信号待機の状態にします。

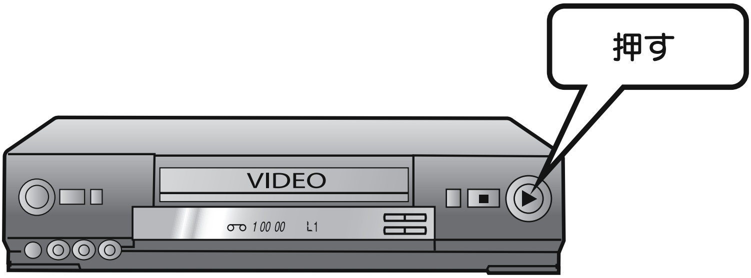


3



入力待機状態になるとシンクロ開始のマークが表示されます。
それで シンクロ開始 の 待機状態が完了です。
信号が入ってきたとき、自動で記録開始がされます。

4 ビデオの再生を開始すると記録を始めます。



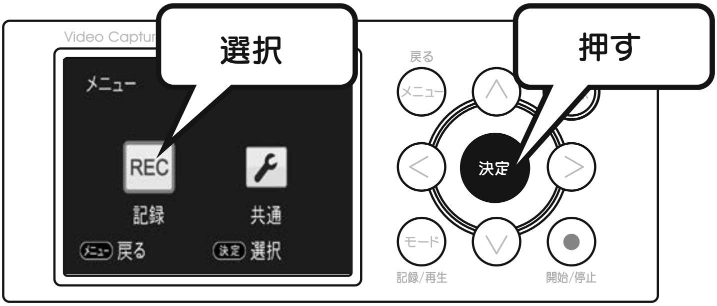
※停止は自動的におこなわれません。
停止するときは、自分で停止ボタンを押すか、次ページの自動停止機能を事前に設定してご利用ください。

※開始、停止とも、ビデオ機器からの信号による自動（シンクロ）でおこないたい場合、シンクロ録画（P38）と、自動停止（P42）の「シンクロ停止」を両方設定してください。

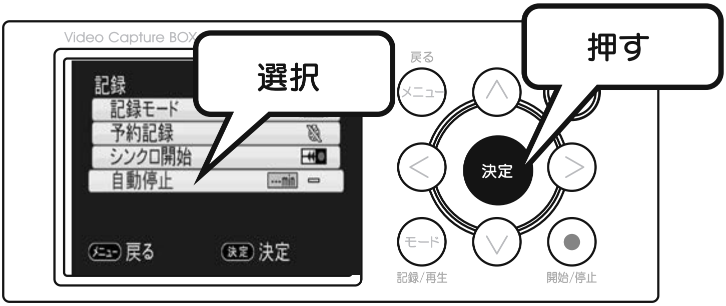
自動停止

本製品はつないだビデオ機器からの信号が無くなったときや、記録する時間の指定で、記録を自動的に停止するように設定できます。
※経過時間、シンクロ停止 は、同時にどちらも設定しておくことができます。

1

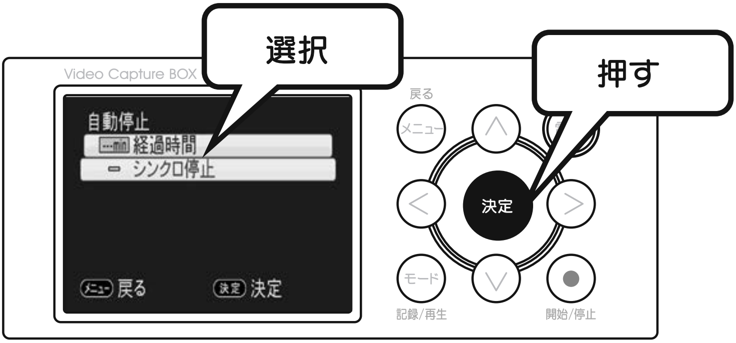


2



∧ ∨ で選択。

3



∧ ∨ で選択。

■経過時間停止

記録を開始してから、設定した時間が経つと記録を自動停止します。

項目	内容
連続	最長 12 時間で停止します。
70 分	70 分の経過で停止します。
130 分	130 分の経過で停止します。
250 分	250 分の経過で停止します。
ユーザー設定	設定した時間の経過で停止します。 1 ～ 380 分の間で設定できます。

< ユーザー設定 >

∧ ∨ < > で設定し、決定 を押します。

■シンクロ停止

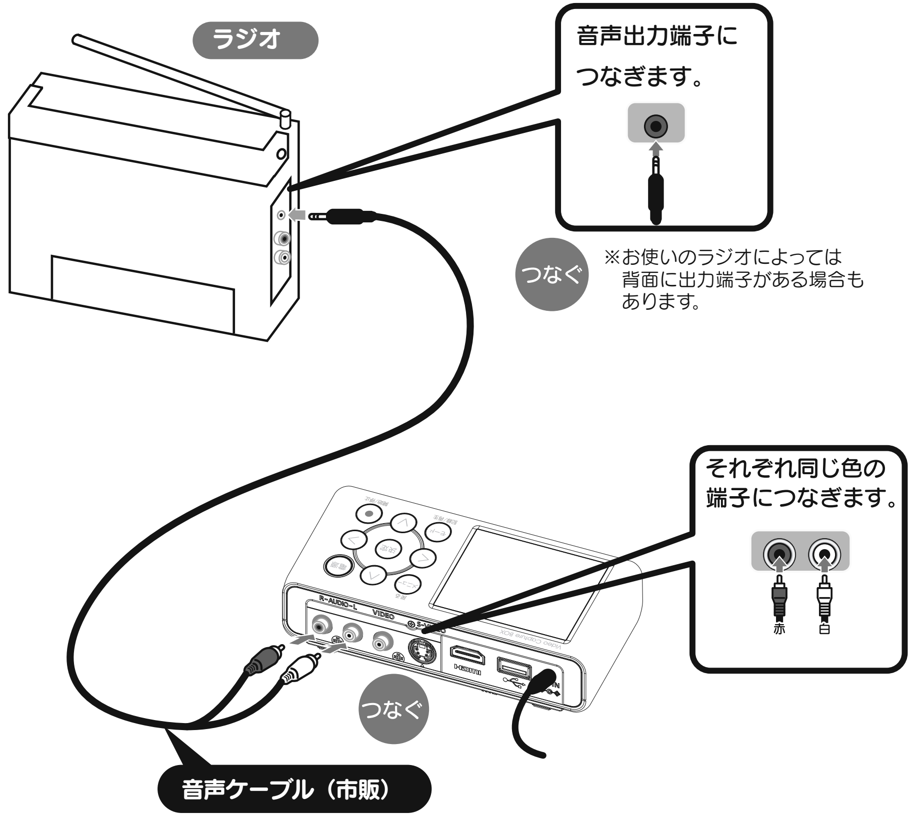
ビデオ信号の無信号を検出して記録を停止できます。
無信号を検出してから 30 秒後に停止します。

項目	内容
ON	無信号を検知してから 30 秒後に停止します。
OFF	信号の状態に関係なく記録を続けます。

これで設定が完了しました。

ラジオやカセットテープの録音

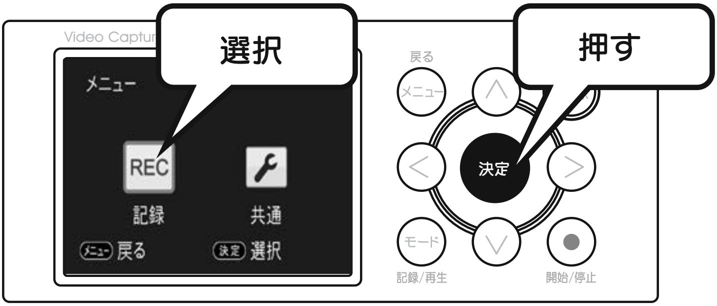
ステップ1 つなぐ



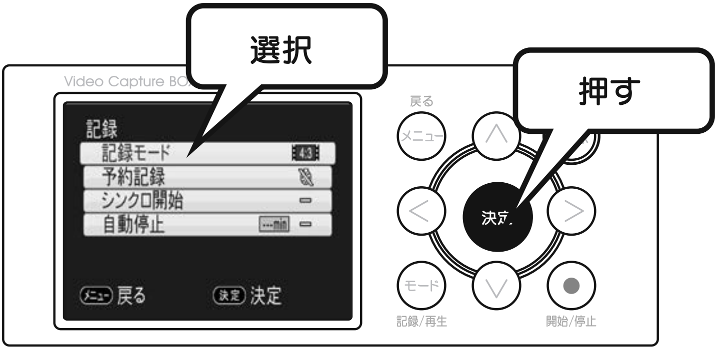
ステップ2 録音モードにする

音声のみ記録するには記録モードを「録音（音声のみ）」に変更します。

1

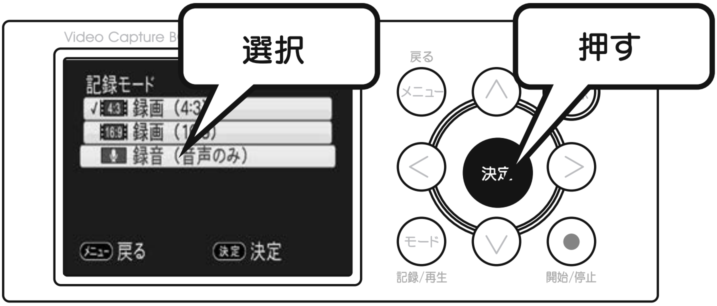


2



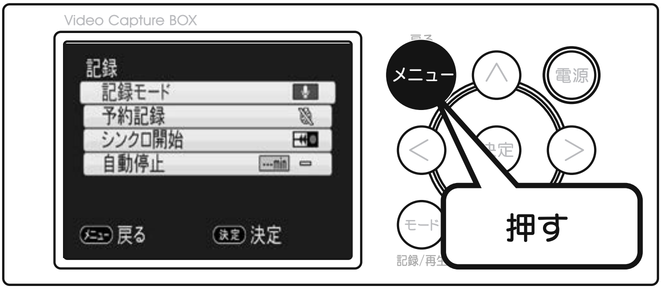
∧ ∨ で選択。

3

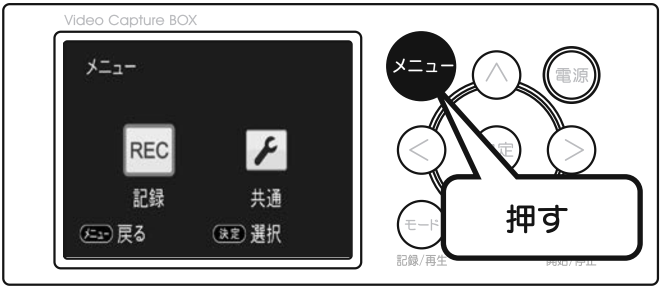


∧ ∨ で選択。

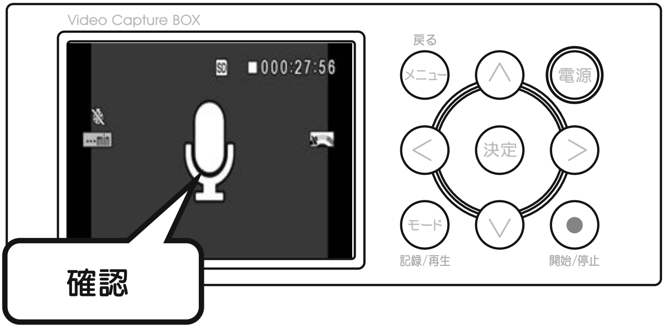
4



5



6



これで設定が完了しました。
画面に上記マイクのアイコンがある場合は音声のみの記録になっています。
この状態でも、映像を入力すると映像も表示されますが、記録されません。

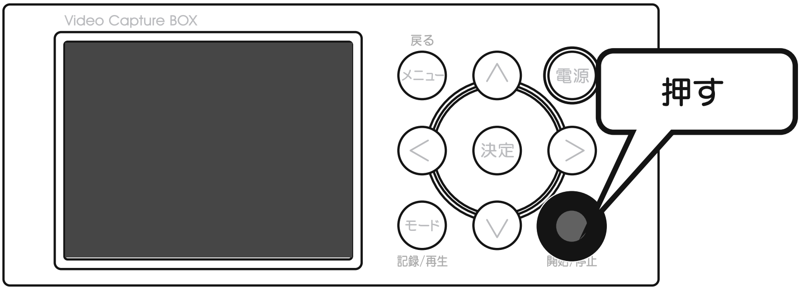
ステップ3 録音する

1 ラジオの電源を入れます。

便利な記録機能を使う

・タイマー予約（予約記録）【48 ページ】
指定した時間に本体を起動して録音することもできます。

2

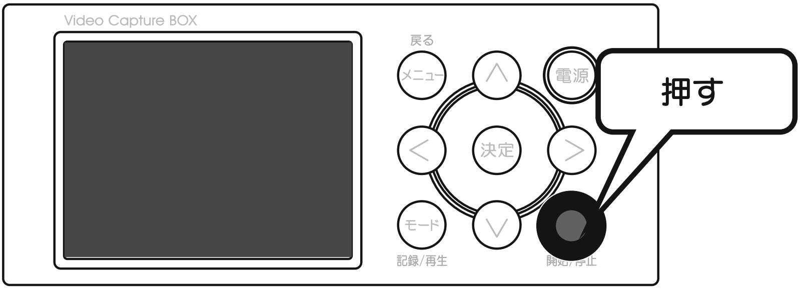


録音レベル調整

入力された信号を確認して左右ボタンで録音レベルを調整できます。
※録音中は調整できません。
録音レベルは画面内のメーターアイコンで確認できます。

無音 最適 入力レベルが高い

ステップ4 録音を停止する



タイマー予約

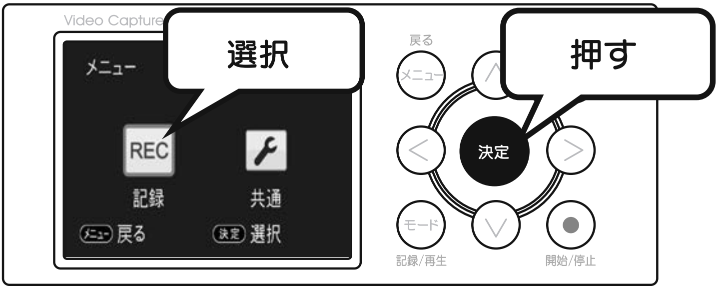
タイマー予約

ラジオなどの時間に合わせて記録します。本書では毎日予約について案内します。

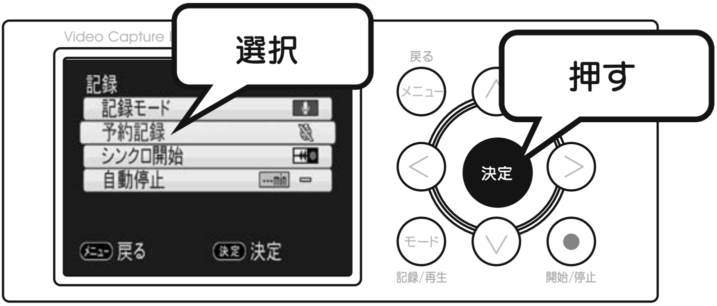
注意

- **予約時間の 30 秒前までに待機状態にしてください。**
  間に合わない場合はタイマー予約が働きません。手動で録音してください。
- **タイマー予約の最長記録時間は 12 時間です。**
- **タイマー予約の開始日時は 1 週間以内で設定してください。**

1

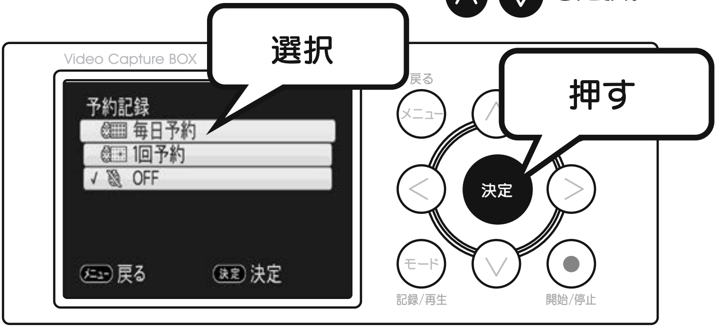


2



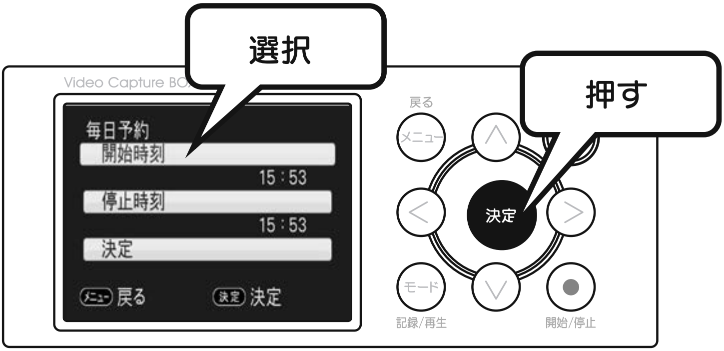
∧ ∨ で選択。

3



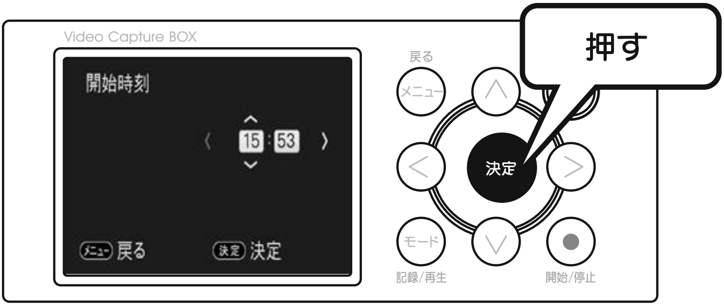
∧ ∨ で選択。

4



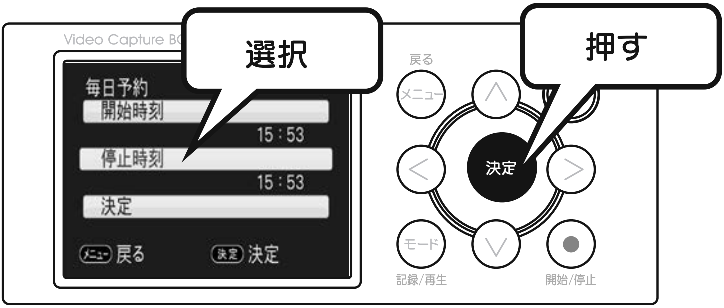
∧ ∨ で選択。

5



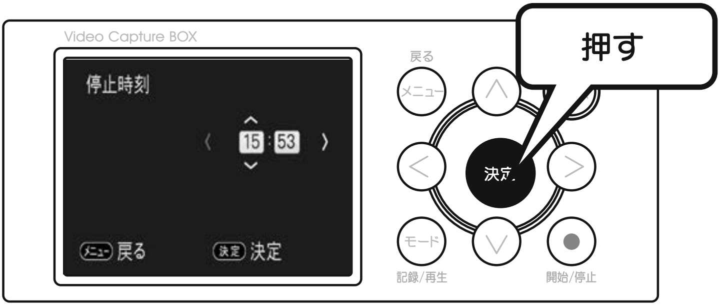
< > ∧ ∨ で選択。

6



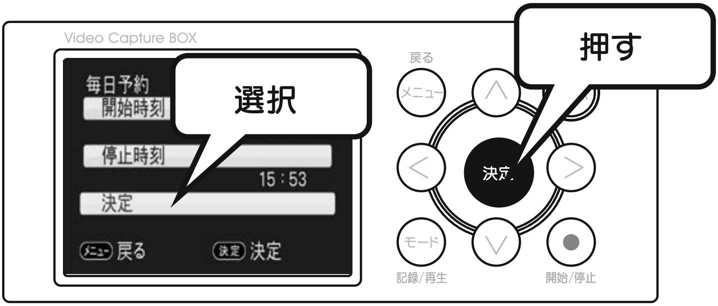
∧ ∨ で選択。

7


Video Capture BOX
停止時刻
15:53
メニュー 戻る
決定 決定
押す
戻る
メニュー
決定
モード
記録/再生
開始/停止

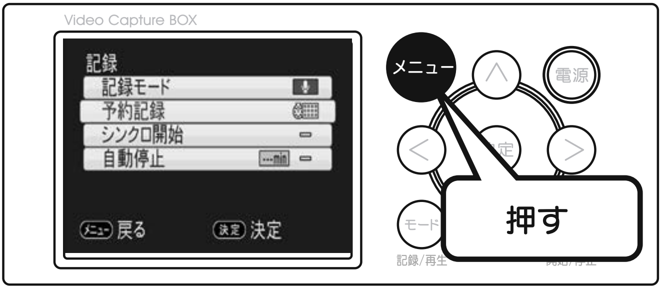
< > ∧ ∨ で選択。

8

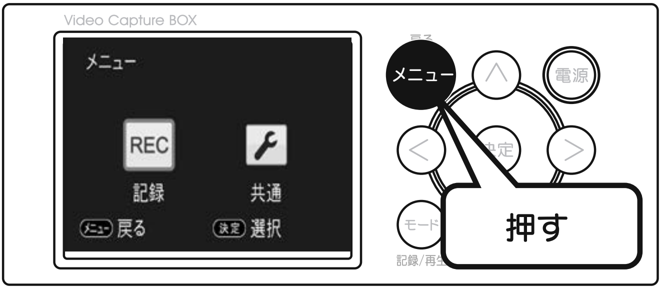

Video Capture BOX
毎日予約
開始時刻
停止時刻
15:53
決定
選択
メニュー 戻る
決定 決定
押す
戻る
メニュー
決定
モード
記録/再生
開始/停止

∧ ∨ で選択。

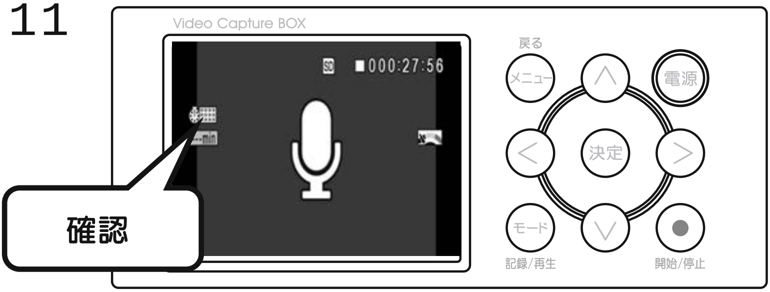
9

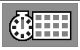

Video Capture BOX
記録
記録モード
予約記録
シンクロ開始
自動停止
メニュー 戻る
決定 決定
メニュー
電源
押す
モード
記録/再生

10

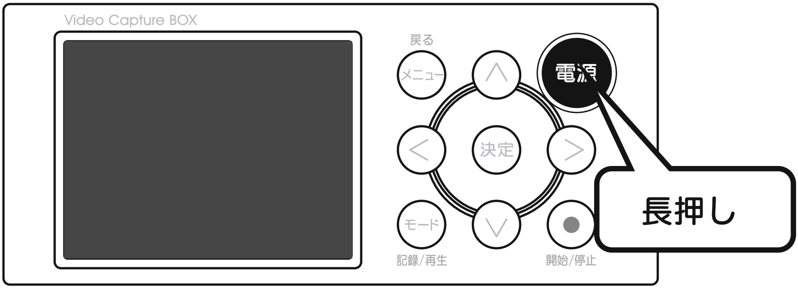


11



アイコン	状態
	毎日予約
	１回予約
	OFF（予約なし）

12　本製品の電源を切ります。
※電源が入っているとタイマー予約は有効になりません。



２秒以上長押しします。

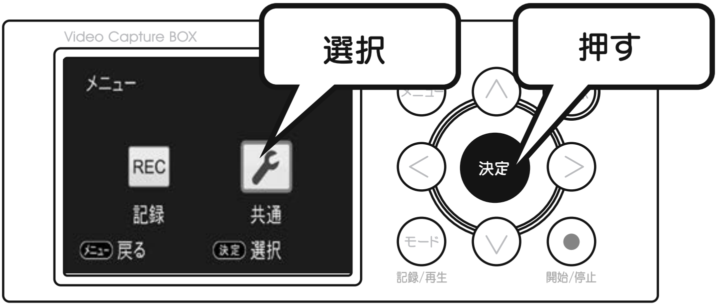
以上で、タイマー予約の待機状態となります。

優先記録メディアを変更する

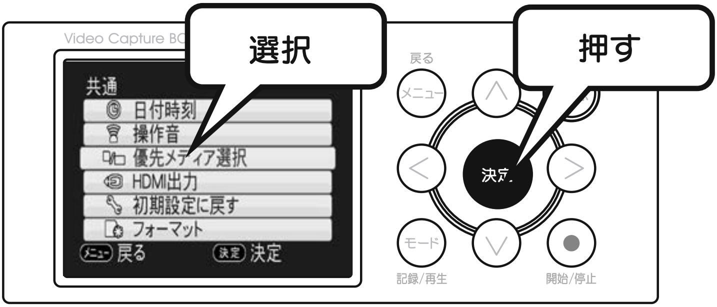
設定手順

最優先に記録するメディアを設定します。
※メディアを１種類しか装着しない場合はこの設定は必要ありません。
※この設定は再生時も有効です。

1

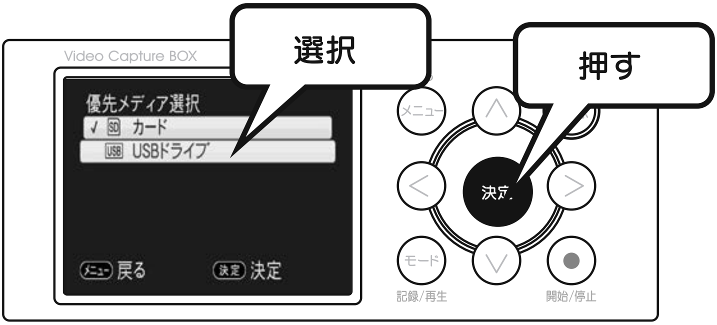


2



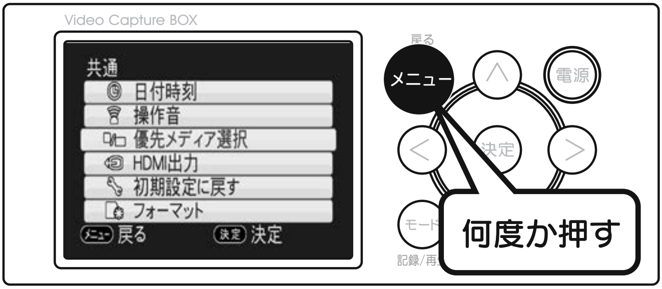
∧ ∨ で選択。

3

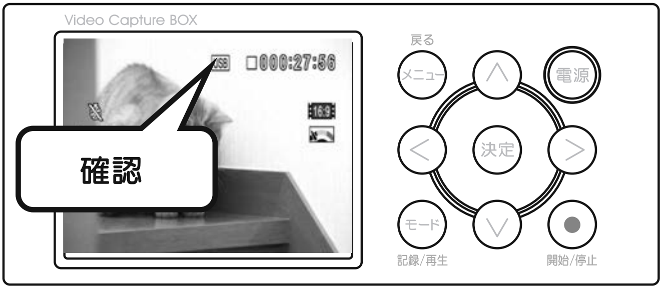


∧ ∨ で選択。

4



5



アイコン	設定されたメディア
SD	ＳＤカード
USB	USB メモリー /USB ドライブ

注意　ハードディスクの制限事項

2TB 以上のハードディスクは対応しておりません。
FAT32 フォーマット以外の場合は、本製品でフォーマットしてください。
フォーマット方法については【フォーマット (54 ページ)】をご覧ください。

これで設定が完了しました。

フォーマット

フォーマット手順

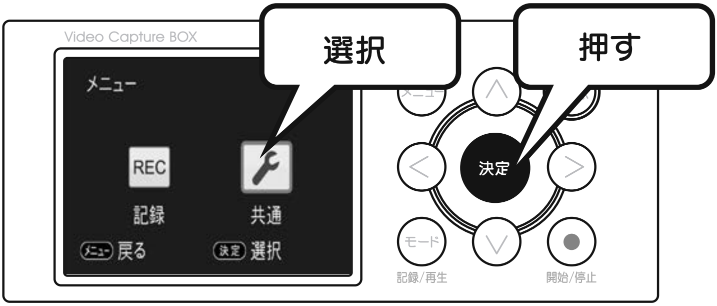
注意　メディア内のデータは消去されます。

フォーマットするとメディア内のデータは消去されます。
必要なデータがある場合は先に別のメディアにコピーしてからフォーマットしてください。

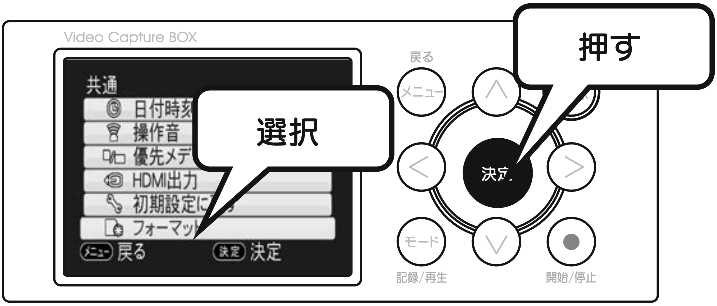
フォーマットするときには

本製品は SD カード /USB ドライブの両方に対してフォーマットできます。そのため、間違ってフォーマットしないように、フォーマットするメディア以外は取り外すことをおすすめします。

1

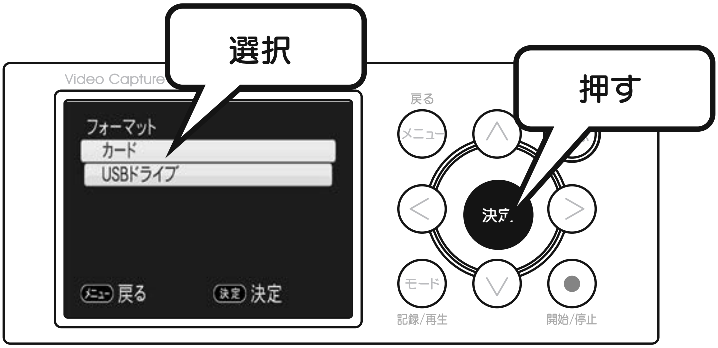


2



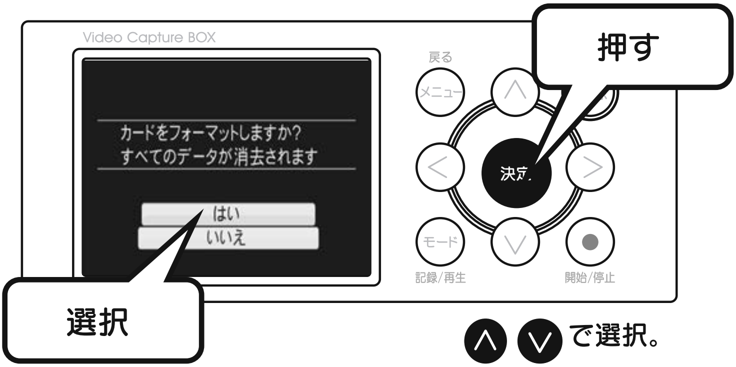
∧ ∨ で選択。

3



∧ ∨ で選択。

4

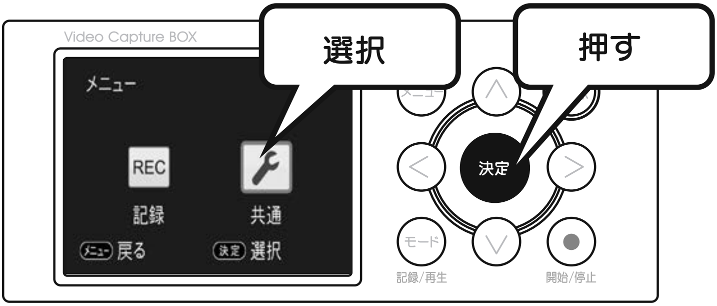


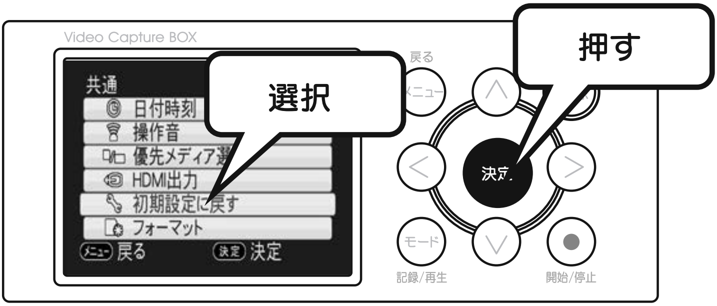
∧ ∨ で選択。

これでフォーマットが完了しました。

初期設定に戻す

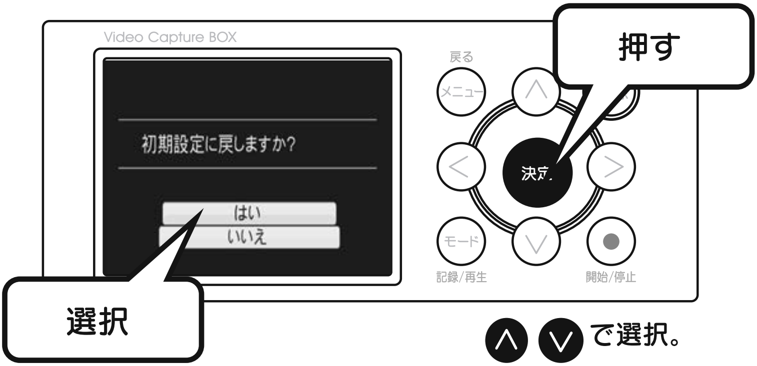
設定手順

1


2


∧ ∨ で選択。

3



これで設定が出荷時に戻りました。

製品仕様

端子	ビデオ入力	Sビデオ入力：ミニ DIN4 ピン x1 コンポジットビデオ入力：RCA ピン x1
	オーディオ入力	外部ライン入力 :RCA ピン (L/R)x 各 1
	HDMI 出力	Type A x1
	ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック x1
	メモリースロット	SD カードスロット (記録・再生用)x1 SD カードスロット (コピー用)x1
	インターフェース	USB2.0 ホスト x1
スピーカー	内蔵スピーカー	モノラル
画面サイズ	3 型　4：3 液晶	
対応メディア	○対応カード SD メモリーカード、SDHC メモリーカード ※最大 32GB まで対応しております。 ※ SDXC カードは対応しておりません。 ○対応 USB ストレージ USB ポータブルハードディスク、USB メモリー ※ 2TB を超える容量のハードディスク、暗号化された USB ストレージには対応しておりません。	
外形寸法	約 139(W) x 約 32(D) x 約 60(H)mm（突起部のぞく）	
質量	約 160g（ボタン電池含む、AC アダプター除く）	
電源	AC アダプター DC5V /1.5A	
消費電流	440mA(本体のみ)	
使用温度範囲	5 ～ 35℃	
使用湿度範囲	20 ～ 80%（結露なきこと）	
各種規格取得	VCCI Class B、RoHS 指令準拠、 電気用品安全法 (AC アダプター)	
保証期間	１年間	
添付品	AC アダプター、取扱説明書、 内蔵時計用ボタン電池 (型番 CR2025 x1 ※本体に装着済み)	

記録仕様

		録画 (4:3)	録画 (16:9)	録音（音声のみ）
映像	記録方式	MPEG-4 AVC/H.264（MP4）	同左	-
	画像サイズ	720x480	同左	-
	フレームレート	60fps	同左	-
音声	記録方式	AAC	同左	MP3
	サンプリングレート	48kHz	同左	48kHz
	ビットレート	256kbps	同左	256kbps

※連続記録時間は最長 12 時間です。

対応フォーマット

動画	MP4	本製品で記録した「動画・音声」のみサポート。
音声	MP3	
写真	JPEG	表示再生不可能なファイルは「？」のアイコンで表示されます。 ※以下のピクセルサイズ内でご使用ください。 横 3456 ピクセル x 縦 4608 ピクセル

※対応フォーマットでも、すべてのファイルが再生できるわけではありません。

※本製品で写真（静止画）の撮影（記録）をすることはできません。

SD カードへの記録時間（目安）

SD カード容量	ビデオテープ	カセットテープ
4GB	約 1 時間 15 分	約 30 時間
8GB	約 2 時間 30 分	約 60 時間
16GB	約 5 時間 15 分	約 125 時間
32GB	約 10 時間 30 分	約 250 時間

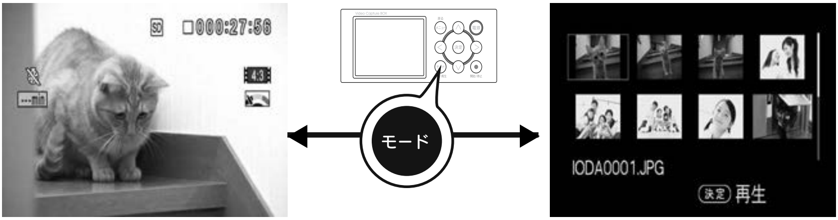
資料

設定メニュー

モードを選ぶ

モード

ボタンを押して、記録（記録モード）と再生（再生モード）を切り換えます。
※電源投入直後は必ず記録モードになります。



記録モード

AV 機器からの映像や音声を記録します。

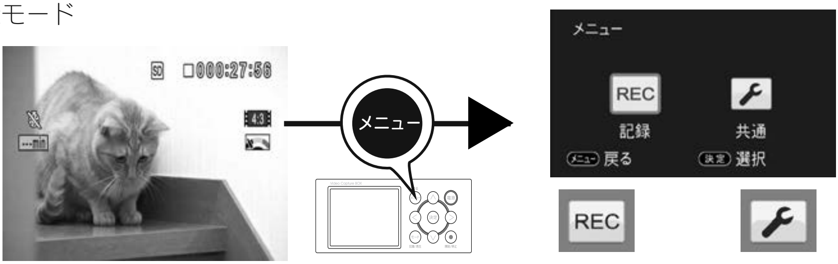
再生モード

記録した動画や音声を再生します。

設定メニューの出し方

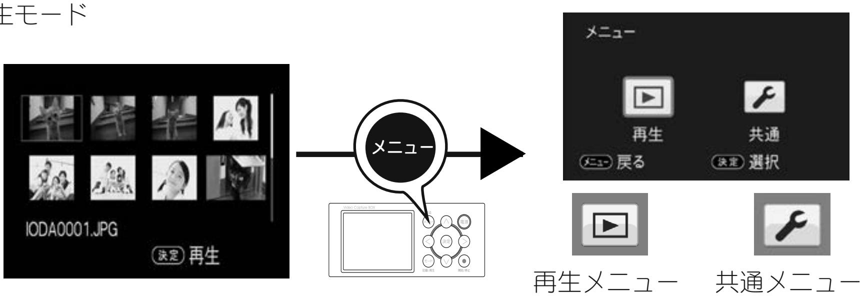
本製品には設定メニューが３つあります。モードによって表示される設定メニューが異なります。※共通メニューは記録モード / 再生モード共に同じです。

記録モード



記録メニュー　共通メニュー

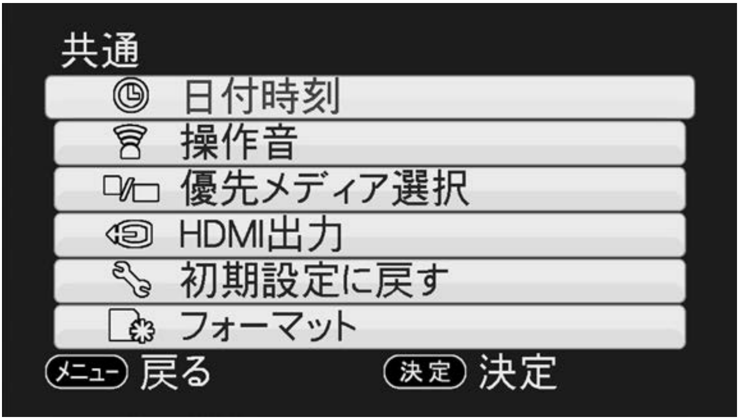
再生モード



再生メニュー　共通メニュー

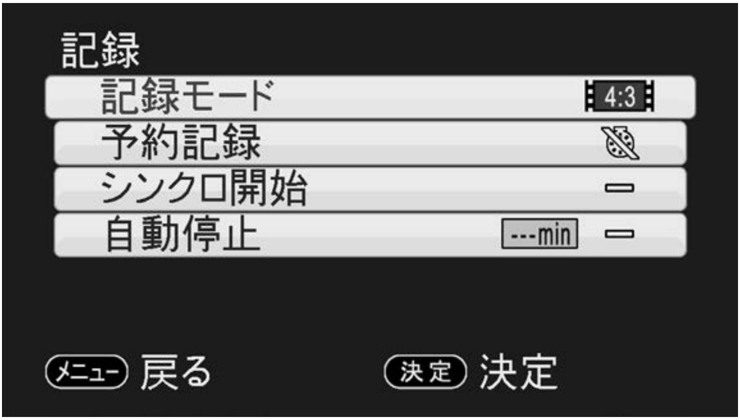
メニュー一覧

■共通



メニュー名	機能	ページ
日付時刻	現在の日付時刻を設定します。 ※電源を切っても電池で保持されます。	14 ページ
操作音	操作時のボリュームを設定します。	-
優先メディア選択	記録時および再生時に選択されたメディア「SDカード」または「USB ドライブ」が優先設定されます。	52ページ
HDMI 出力	HDMI 出力時の解像度を指定します。	-
初期設定に戻す	設定をご購入時に戻します。 ※日付時刻設定および予約設定の内容は保持します。	56ページ
フォーマット	選択したメディアをフォーマット (初期化) し、本製品で記録できる状態にします。	54ページ

■記録



メニュー名		機能	ページ
記録モード		記録モードを設定します。 「録画 (4:3)」「録画 (16:9)」「録音（音声のみ)」から選びます。	18 ページ
予約記録		予約記録を設定します。 毎日もしくは、１回予約が選べます。	48 ページ
シンクロ開始		本製品に信号が入力されたら自動的に記録が開始されるように設定します。	38 ページ
自動停止	経過時間	記録を開始後、自動的に終了するように設定できます。	43 ページ
	シンクロ停止	本製品に映像無信号が入力されたら自動的に記録を終了されるように設定できます。	43 ページ

■再生

メニュー名		機能	ページ
画像補正設定※	超解像	動画を再生時に超解像技術により解像度をアップして高精細に表示します。	28ページ
	手ぶれ補正	動画を再生時にブレを補正して表示します。 ※上下左右が少し切れて表示されます。	26ページ
コピー		SD カードに記録された動画、音声や画像をコピーします。 「SD カード」→「SD カード」、または 「SD カード」→「USB ドライブ」を選択します。	34ページ
消去		記録を削除します。「選択削除」または「全消去」を選択できます。	32ページ
連続再生		記録をスライドショーのように連続して再生します。	30ページ
ボリューム		再生ボリュームを変更します。	-

※本製品で記録した動画でのみ有効です。

エラーメッセージ

エラーメッセージ一覧

SD カード /USB ドライブで使用時

エラーメッセージ	カードの状態
コピーガード信号がありました。	本製品は著作権保護映像 (地上デジタル放送、BS/CS 放送、およびそれらを録画したレコーダーの映像、市販ビデオディスクなど) を記録することはできません。 著作権保護信号（コピーガード信号）を検出すると、記録を停止します。 また、テレビへの画面出力もできません。

SD カードで使用時

エラーメッセージ	カードの状態
このカードは使用できません。	カードが故障しているか、SDXC タイプのカードなど未対応カードが挿入されています。 別の SD カードを挿入してください。
このカードは使用できません。 フォーマット後、お使いください。	SD カードのフォーマットが対応していません。本製品でフォーマット(54 ページ)後、お使いください。
カードロックされています。	SD カードの書き込み禁止スイッチがロックされています。ロック解除後お使いください。
カード残量がありません。	SD カードに記録できる残量がありません。 別の SD カードを挿入してください。
録画保存数が超えました。 新しいカードをお使いください。	999 フォルダ内に 9999 ファイルがある場合、本カードは使用できません。別の SD カードを挿入してください。

USB ドライブで使用時

エラーメッセージ	USB ドライブの状態
この USB ドライブは使用できません。 フォーマット後、お使いください。	USB ドライブフォーマットが対応しておりません。本製品でフォーマット後(54 ページ)お使いください。 ※本製品は、ファイルシステムが FAT32 のみに対応。
この USB ドライブは使用できません。	対応外ハードディスクもしくはハードディスクが故障しています。 別の USB ハードディスクをお使いください。 ※ 2TB を超える容量のハードディスク、暗号化された USB ストレージは対応しておりません。
USB ドライブの残量がありません。	USB ハードディスクに記録できる残量がありません。別の USB ハードディスクを接続してください。
録画保存数が超えました。 新しい USB ドライブをお使いください。	999 フォルダ内に 9999 ファイルがある場合、本 USB ハードディスクは使用できません。 別の USB ハードディスクを接続してください。

困った時には

○映像が表示されない

本製品は正しくつながれていますか？

ビデオデッキ または ビデオカメラ側の接続した端子が出力端子かご確認ください。
以下の点をご確認ください。
・つないだビデオの電源がはいっているか
・ビデオテープが再生されているか
・ビデオをテレビにつないで映るか

○音声がきこえない

本製品は正しくつながれていますか？

ビデオデッキ または ビデオカメラ側の接続した端子が出力端子かご確認ください。
以下の点をご確認ください。
・音声端子（赤と白（白のみでも可））のケーブルが正しくつながれているか。
・ビデオ側で音量調整ができる場合、ビデオの音量を上げてみてください。
・消音になっていないか。

○記録した動画に音声は入っているが映像は止まっている

入力された映像品質が原因です。

入力されたビデオ信号の品質が悪い場合、本製品では映像が停止することがあります。これは本製品の仕様となります。

○記録すると縦長の映像になる

入力された映像が 16：9 だが、本製品の記録モード（縦横比）が 4：3 に設定されている。

記録メニューの記録モードを変更してお使いください。
記録モードを変更しても変わらない場合はビデオ側の出力モードをご確認ください。【記録時間と縦横比を確認する（18 ページ）】参照

○記録したファイルが分割される

1 回の記録でも、4GB を超えるごとにファイルが分割され記録されます。
※分割されていても、本製品では 1 回の記録で作成されたファイルは、連続して再生されます。

○デジカメ / ビデオカメラで撮影した写真を、本製品で再生できない

本製品では、DCF 規格に準拠した写真のみ再生できます。

パソコンで、再生したい写真を下記の DCF 規格に準拠したフォルダー構成 / ファイル名に修正し、SD カードに保存しなおします。

・フォルダー名	: WWWXXXX	（WWW:100 ～ 999 の数字、XXXX: 英数字）
・ファイル名	: YYYYZZZZ.JPG	（YYYY: 英数字、ZZZZ:0001 ～ 9999 の数字）

（修正例）

① SD カードの「DCIM」フォルダーの中に、新規でフォルダーを作成し、「100ABCDE」※1 と名前を付けます。

※1「100」部分は他のフォルダーと違う数字にしてください。
同じ数字のフォルダーがあった場合、どちらのフォルダー内の画像も再生できません。

②「100ABCDE」フォルダーの中に、再生したい写真を保存します。

③写真のファイル名を、それぞれ「ABCD0001.JPG」、「ABCD0002.JPG」、「ABCD0003.JPG」、… に変更します。

※パソコンで編集された写真は再生できません。

※ 以下のピクセルサイズを超える写真は再生できません。
横 3456 ピクセル x 縦 4608 ピクセル

○日時を設定しても保持されない

電池は正しく働いていますか？

以下の点をご確認ください。

・電池がただしく装着されているか。

・メニューの「共通」から日付時刻の設定をし直してみてはどうか。

・電池切れの可能性もあります。電池交換してみてはどうか。

○エラーメッセージが表示される

メッセージが表示される場合は、【エラーメッセージ一覧（64 ページ）】をご確認ください。

お問い合わせ

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

「困ったときには」を参照

➡ **【困ったときには】(66ページ)**

弊社サポートページのQ&Aを参照

➡ **http://www.iodata.jp/support/**

それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話：050-3116-3015

※受付時間　9：00～17：00　月～日曜日（年末年始・夏期休業期間をのぞく）

FAX：076-260-3360

インターネット：http://www.iodata.jp/support/

< ご用意いただく情報 >

・お使いの弊社製品名、トラブルの起こった状態、トラブルの内容、現在の状態。
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

修理について

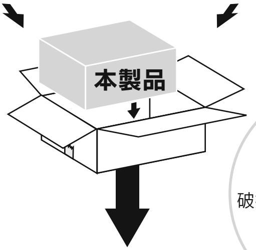
修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。

ハードウェア保証書または お買い上げ時のレシート

メモ

- ●氏名 ●住所
- ●電話番号 ●FAX 番号
- ●メールアドレス ●症状

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。



梱包は厳重に!
弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。

宅配便で送付
紛失をさけるため宅配便でお送りください。

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

- ●送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
- ●有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。(見積無料)
  金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- ●内部にデータが入っている製品の場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
  バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- ●お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- ●保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- ●修理品をお送りになる前に製品名とシリアル番号(S/N)を控えておいてください。

修理について詳しくは… **http://www.iodata.jp/support/after/**

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

5) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は法令の範囲内でご利用ください。

6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

● I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● SDHC ロゴは、商標です。
● HDMI、HDMI のロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
● その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
● 仕様および外観は製品改良のために予告なく変更されてることがあります。

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

1）保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
2）修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
3）ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕）が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
4）火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
5）お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
6）接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
7）取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
8）合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
9）弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
10）弊社が寿命に達したと判断した場合
11）保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
12）その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

1）修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2）発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3）本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4）弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

1）本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2）弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3）本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。
Our company provides the service under this warranty only in Japan.

弊社修理センターのご案内

送付先
〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

ハードウェア保証書

修理の際は、保証書を切り取り製品に同梱するか、
本書を製品と一緒に送付してください。

型　番	GV-VCBOX
保証期間	ご購入日より 12ヶ月間有効です

☆お客様

ふりがな

お名前　　　　　　　　　　　　様

TEL.（　　　　　）　　　－

〒□□□-□□□□

ご住所

「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。

記入漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。販売店欄は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。

また、本書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

販売店

ご購入日

住所・店名

印

TEL.（　　　　　）　　　－

ご販売店様へ

1. お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご記入日欄に記入し貴店名／住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
2. 記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられません。

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社（裏面修理センター宛）にご依頼ください。

I-O DATA

株式会社アイ・オー・データ機器

進化する明日へ Continue thinking

株式会社アイ・オー・データ機器

ホームページ　http://www.iodata.jp/